

合計特殊出生率「見える化」分析

《岡山県出生率地域格差要因分析》

2

第 2 章

市町村分析シート

市町村分析シートの見方

県内市町村を対象とした合計特殊出生率地域差の要因分析結果等を利用して、市町村別に合計特殊出生率に影響する出生構造や社会経済特性について「分析シート」を作成した。

2011-2015年の合計特殊出生率

人口動態調査と国勢調査を基に、2011年から2015年の出生数を集計した合計特殊出生率を独自に算出したもの。
全国との比較や出生構造要因の分析に用いた。

ベイズ推定値

2011-2015年合計特殊出生率の二次保健医療圏によるベイズ推定値である。
偶然変動の影響をできるだけ小さくしたものであり、社会経済特性の分析を行う上で基礎となる出生率である。

合計特殊出生率の全国との差

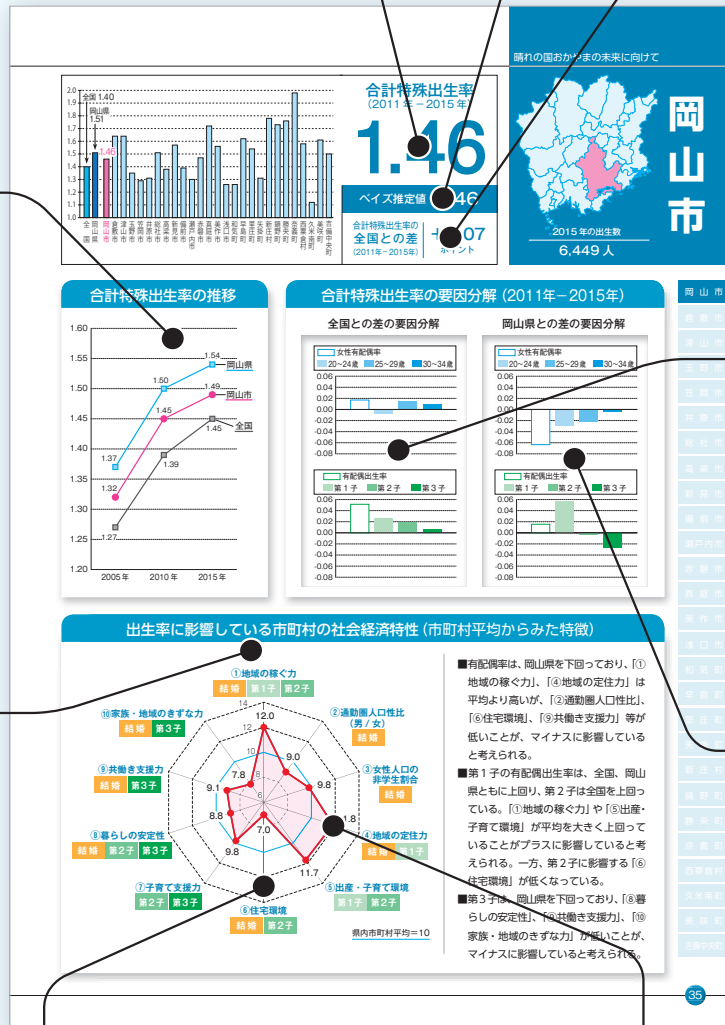
各市町村の2011-2015年合計特殊出生率と同じ方法で算出した全国の合計特殊出生率1.40との差である。
左の岡山市の例では、四捨五入より0.01ポイントの差が生じている。

単年の合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率の推移をみるために、2005年、2010年、2015年の合計特殊出生率を算出したもの。女性人口は国勢調査による基準人口の日本人に統一してある。
単年の出生率であり、ベイズ推定も行っていないため、偶然変動の影響に注意が必要である。

出生率に影響している社会経済特性が分かる

合計特殊出生率に対する影響をみた社会経済特性の「各市町村の得点」を県内市町村の中で相対化（平均10、標準偏差1）して算出したもの。
市町村平均を10点として表しており、10点を上回れば、当該市町村ではその特性の得点が市町村平均よりも高いことを示す。



合計特殊出生率の全国との差が生じている要因が分かる

上記の「合計特殊出生率の全国との差」を出生構造要因により分解したものの棒グラフが上に伸びている場合は、市町村の合計特殊出生率をその数値分だけ押し上げている（下に伸びている場合は押し下げている）要因であることが分かる。
上下の図の「女性有配偶率」の差と「有配偶出生率」の差を足すと、全国との差に一致する。
※女性有配偶率の年齢階層の一部と、有配偶出生率の第4子以上の掲載は省略

合計特殊出生率の岡山県との差が生じている要因が分かる

「合計特殊出生率の全国との差の要因分解」の「岡山県との差」バージョンである。
本分析での「地域差」は全国との差であるものの、この図により、岡山県の合計特殊出生率の特性に対して、各市町村がどのように影響しているかが分かる。

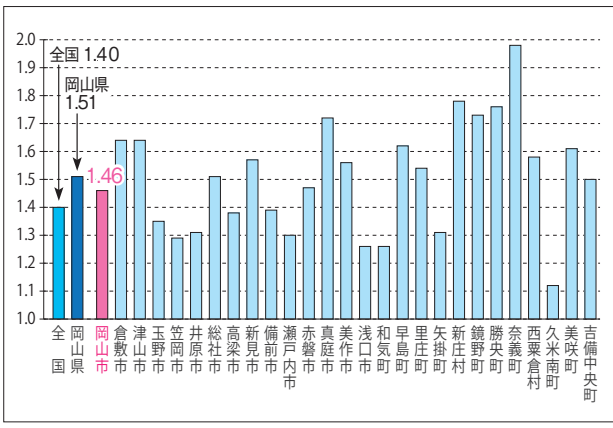
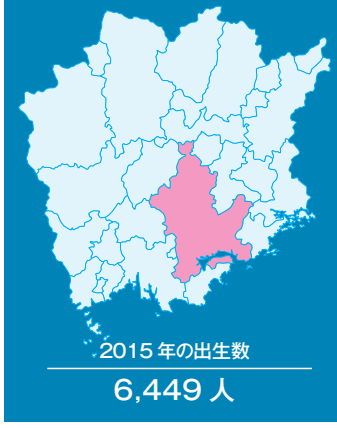
軸は社会経済特性

各特性が、合計特殊出生率を構成する女性有配偶率（結婚）や、どの出生順位の有配偶出生率に影響するかを示した。
各社会経済特性が市町村平均の10点よりも高いか低いかだけでなく、合計特殊出生率の「全国との差の要因分解」や「岡山県との差の要因分解」の結果と見比べながら、課題を検討する必要がある。

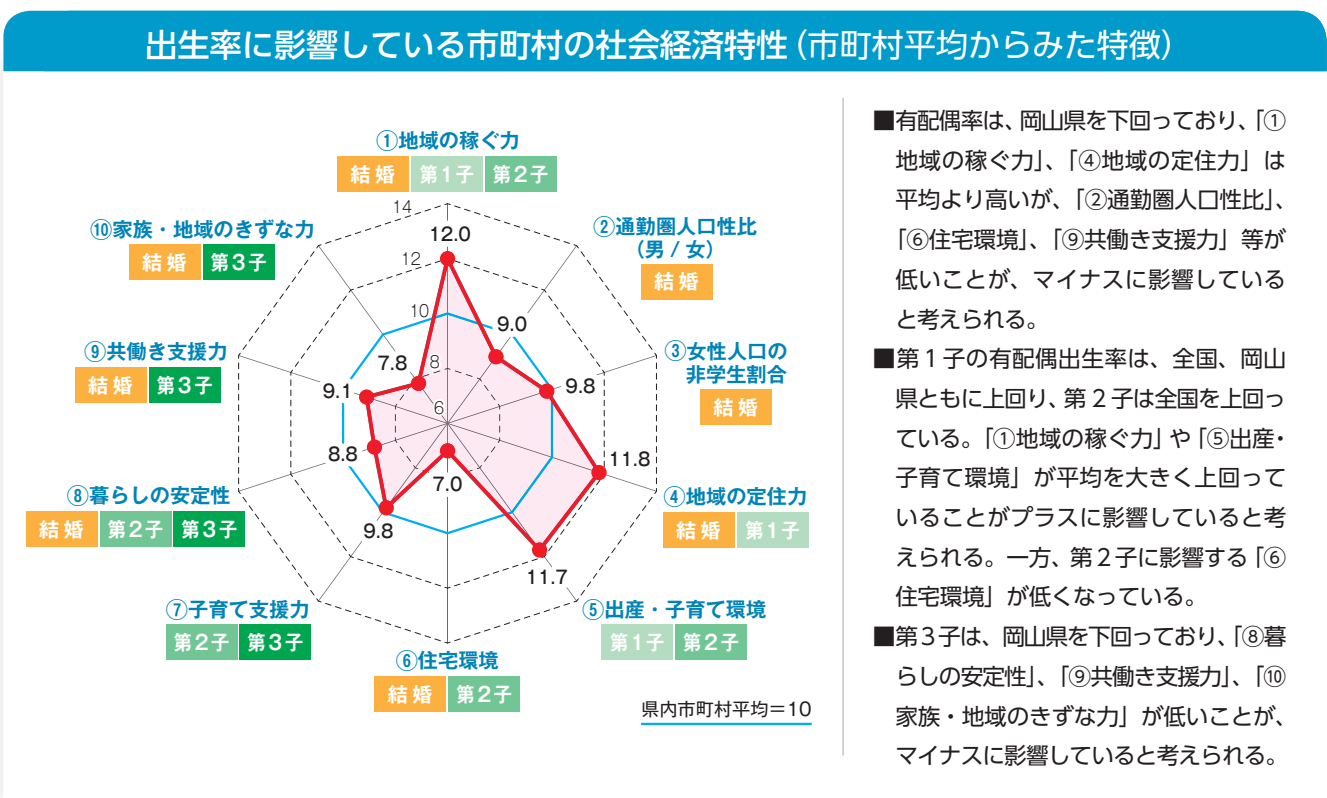
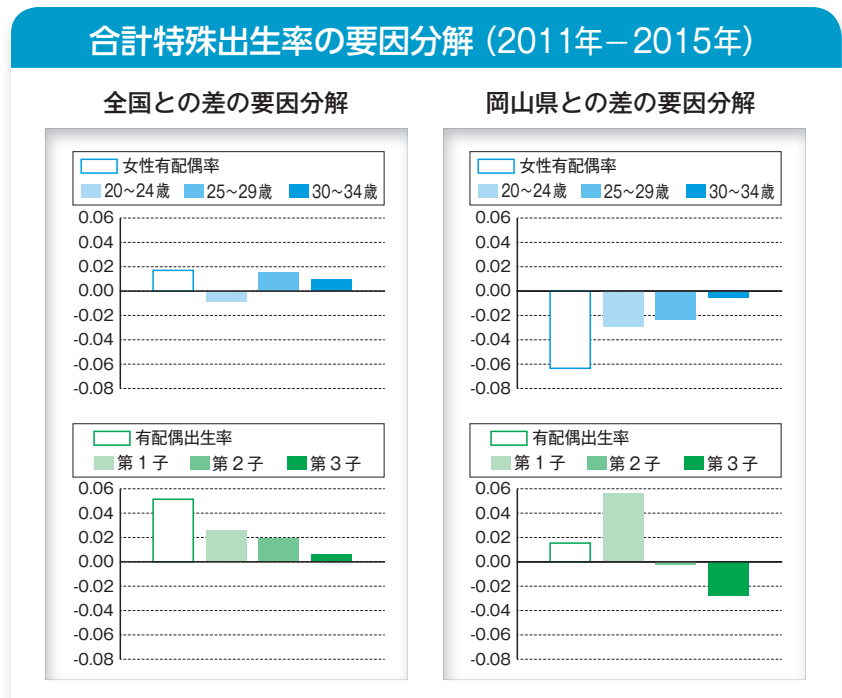
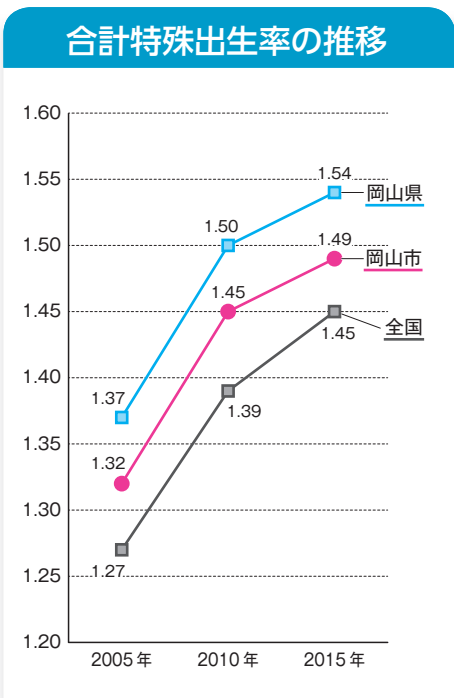
得点は当該市町村の特性の大きさ

合計特殊出生率の高低に結び付けて、社会経済特性間で得点の大きさを比較するときは注意が必要である。
得点は、当該市町村の特性の大きさを示しているものだが、各特性の変化により有配偶率や有配偶出生率がどのくらい変動するかは、標準偏回帰係数をみる必要がある。
※通勤圏人口性比（男/女）は、代表指標として25-29歳を得点化した

岡山市



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.46
ベイズ推定値 1.46
合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.07**
ポイント



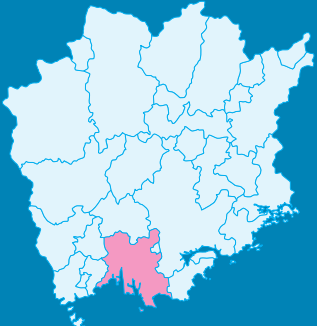
■有配偶率は、岡山県を下回っており、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」は平均より高いが、「②通勤圏人口性比」、「⑥住宅環境」、「⑨共働き支援力」等が低いことが、マイナスに影響していると考えられる。

■第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに上回り、第2子は全国を上回っている。「①地域の稼ぐ力」や「⑤出産・子育て環境」が平均を大きく上回っていることがプラスに影響していると考えられる。一方、第2子に影響する「⑥住宅環境」が低くなっている。

■第3子は、岡山県を下回っており、「⑧暮らしの安定性」、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が低いことが、マイナスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

倉敷市



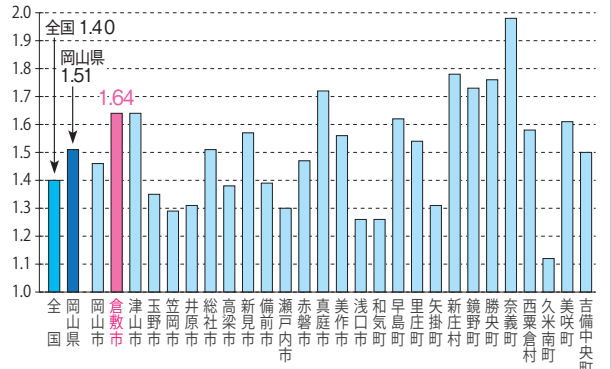
2015年の出生数
4,363人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

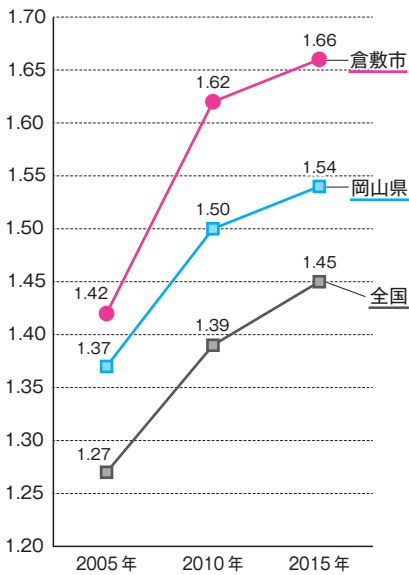
1.64

ベース推定値 1.63

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.24**
ポイント

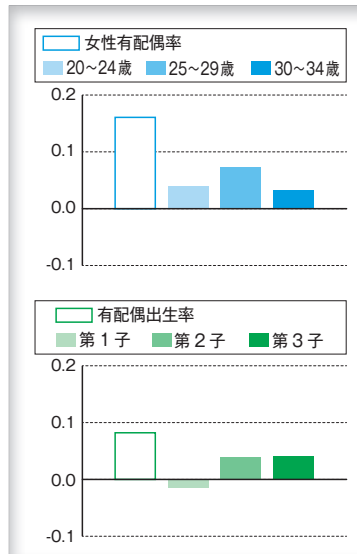


合計特殊出生率の推移

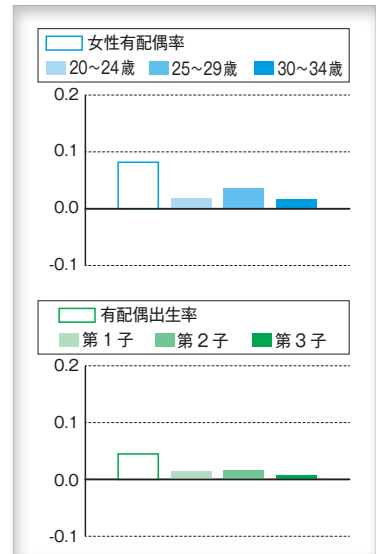


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

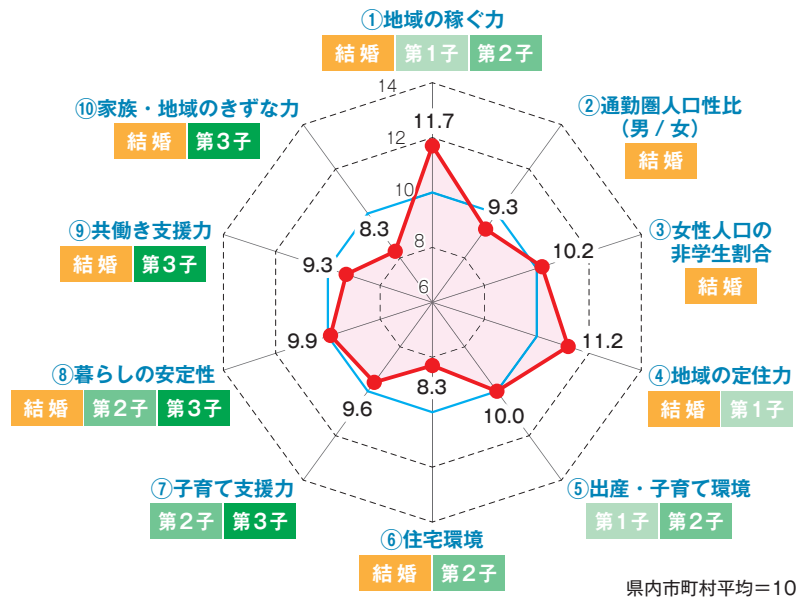
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



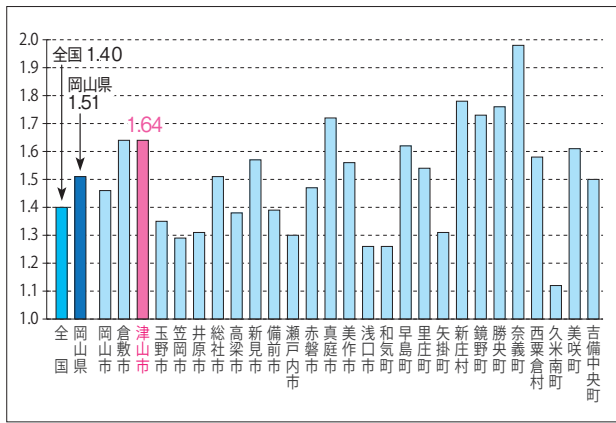
出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



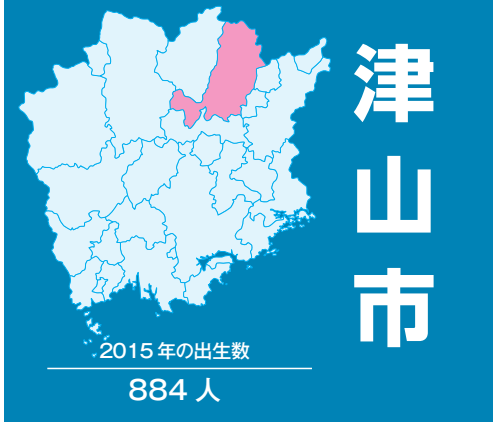
■有配偶率は、全国、岡山県ともに上回っており、「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。一方で、「②通勤圏人口性比」、「⑥住宅環境」、「⑩家族・地域のきずな力」が低いことはマイナスに影響していると考えられる。

■有配偶出生率は、岡山県とほぼ同じ傾向である。「⑨共働き支援力」と「⑩家族・地域のきずな力」が低いことが、第3子に対してマイナスに影響していると考えられる。

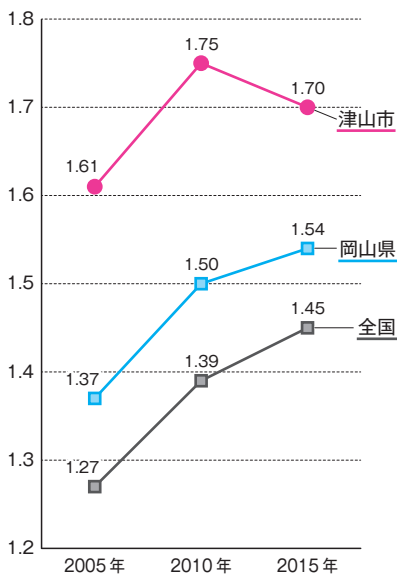
県内市町村平均=10



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.64
ベイズ推定値 1.64
合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+ 0.25**
ポイント

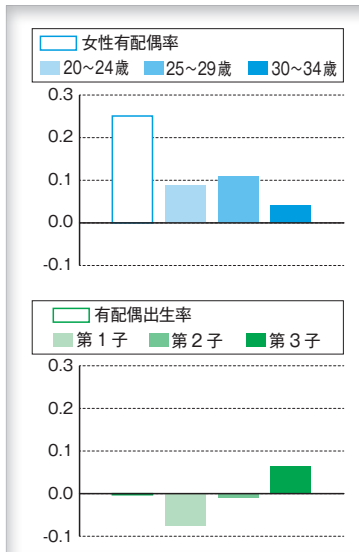


合計特殊出生率の推移

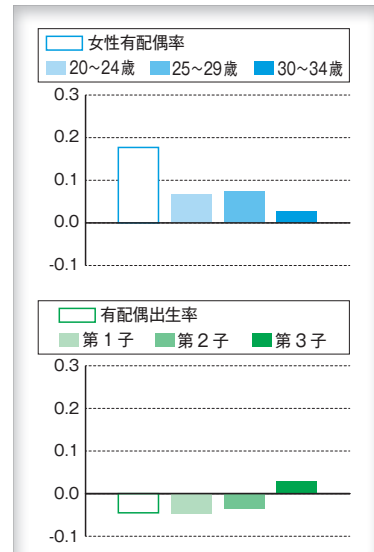


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

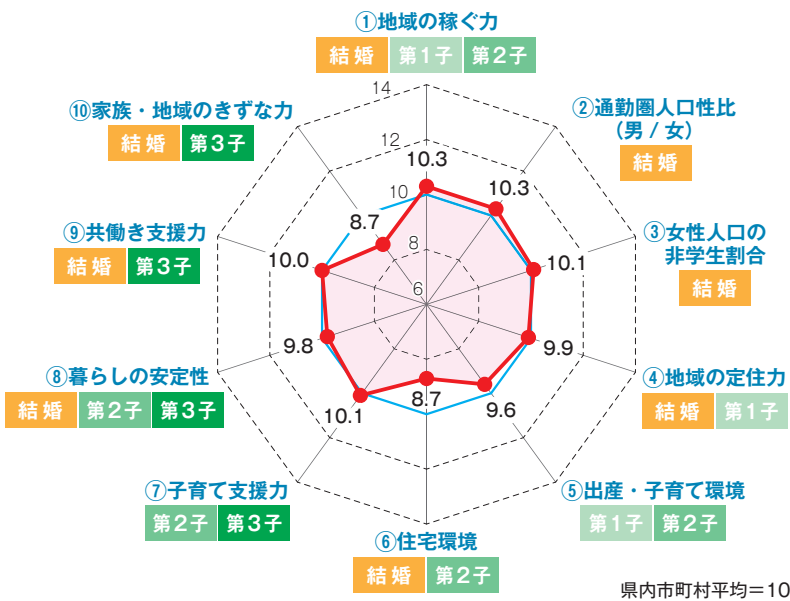
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



■有配偶率は、全国、岡山県ともに上回っており、「①地域の稼ぐ力」と「②通勤圏人口性比」が高く、「④地域の定住力」と「⑨共働き支援力」がほぼ平均値となっていることが影響していると考えられる。

■有配偶出生率は、第1子と第2子の出生率が全国や岡山県を下回っていることが特徴である。「⑤出産・子育て環境」と「⑥住宅環境」が低いことが、第1子と第2子にマイナスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

玉野市



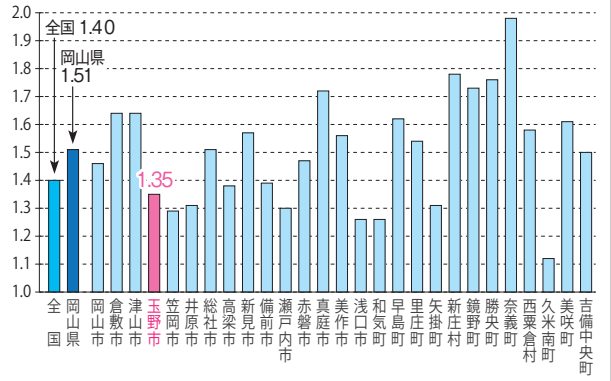
2015年の出生数
389人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

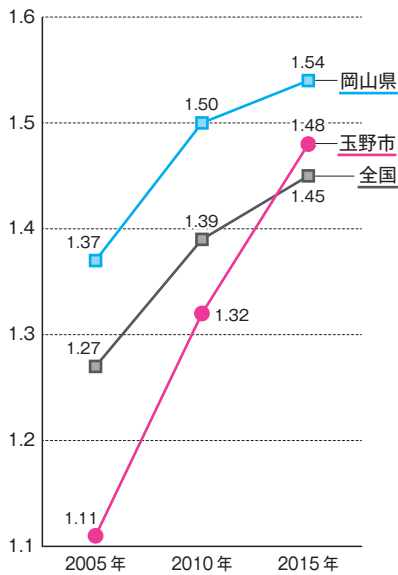
1.35

ベース推定値 1.42

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.04**
ポイント

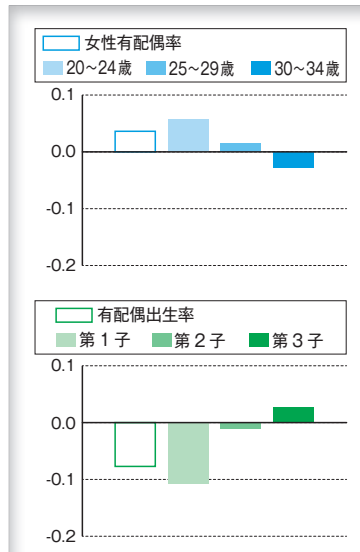


合計特殊出生率の推移

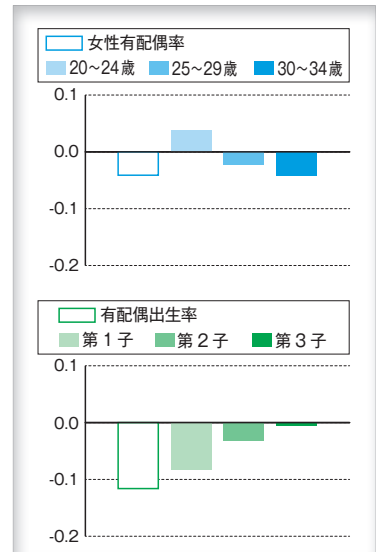


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

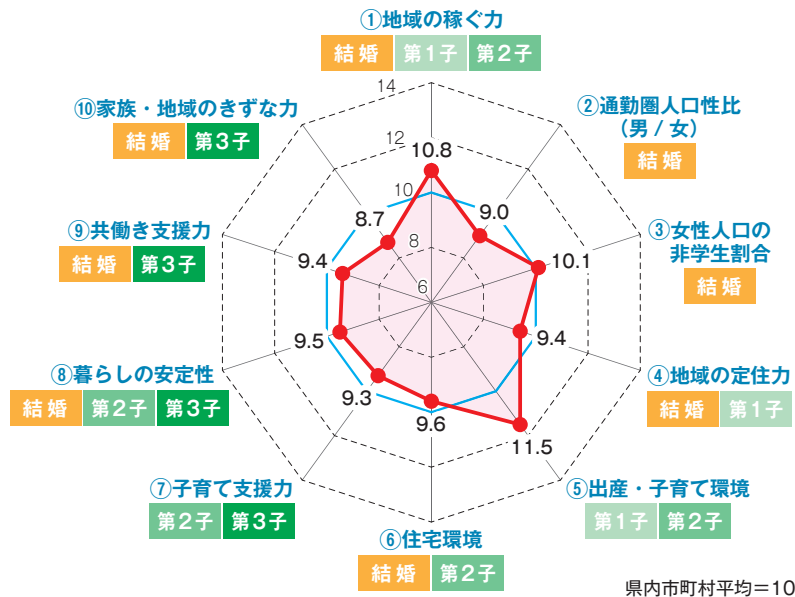
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

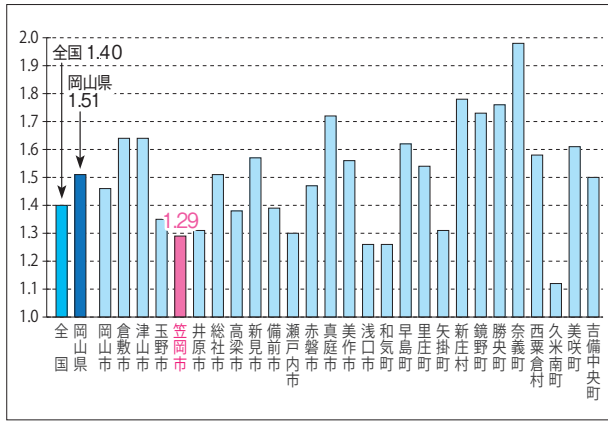


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)

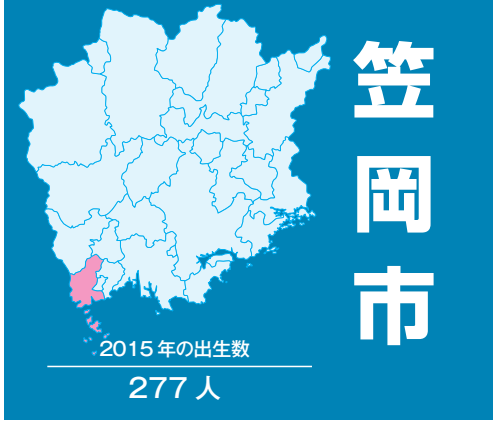


■ 25-29歳の有配偶率が岡山県を下回り、30-34歳の有配偶率が全国より低いことが特徴である。「①地域の稼ぐ力」は高いものの、「②通勤圏人口性比」、「④地域の定住力」、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

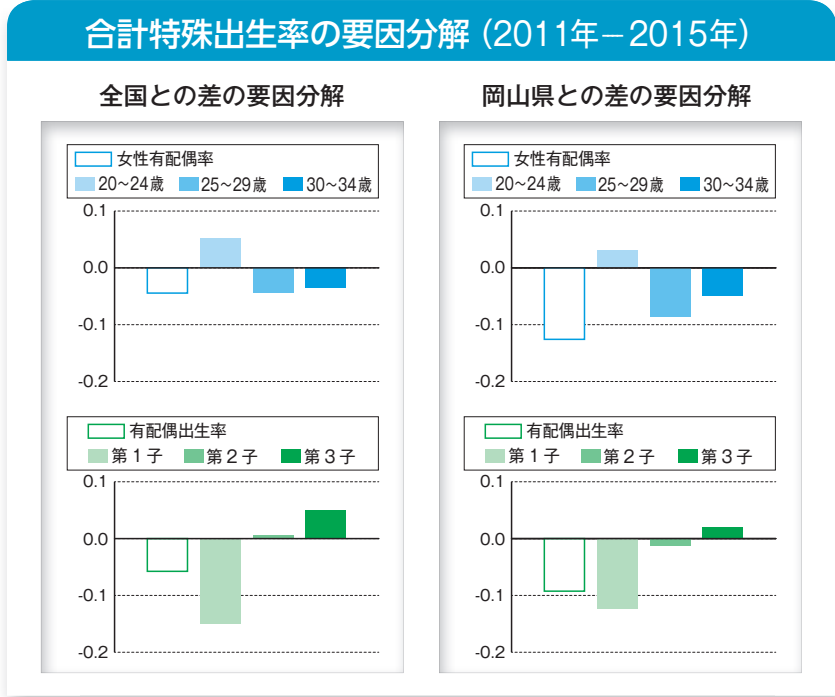
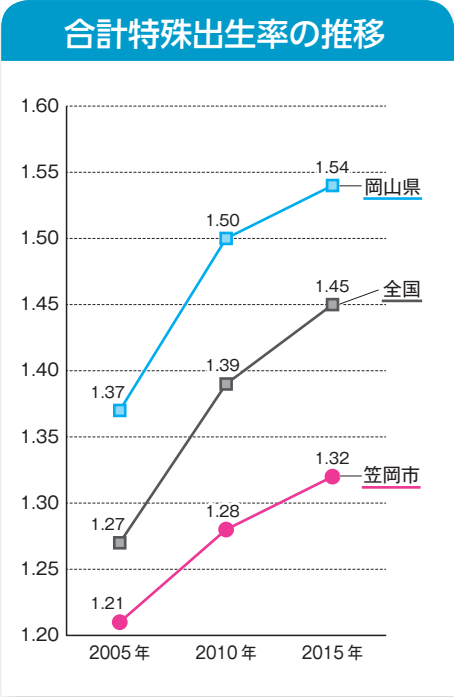
■ 第1子と第2子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており、「④地域の定住力」、「⑥住宅環境」、「⑦子育て支援力」、「⑧暮らしの安定性」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。



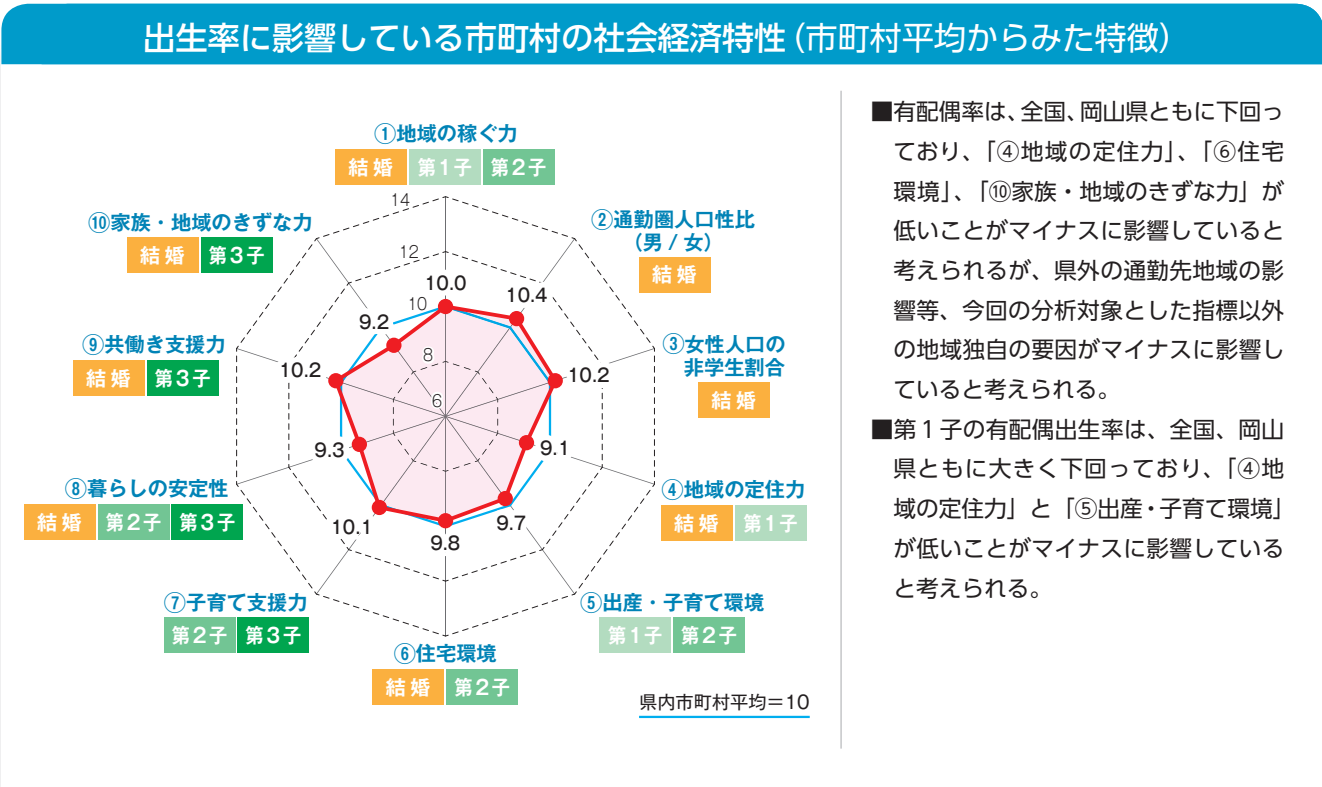
合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.29
ベイズ推定値 1.43
合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.10**
ポイント



笠岡市



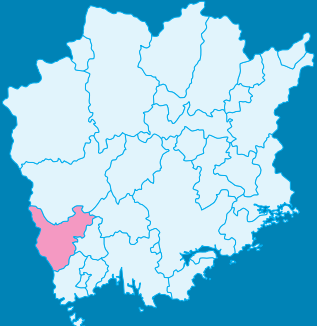
- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町



■有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、「④地域の定住力」、「⑥住宅環境」、「⑩家族・地域のきずな力」が低いことがマイナスに影響していると考えられるが、県外の通勤先地域の影響等、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。

■第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに大きく下回っており、「④地域の定住力」と「⑤出産・子育て環境」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

井原市



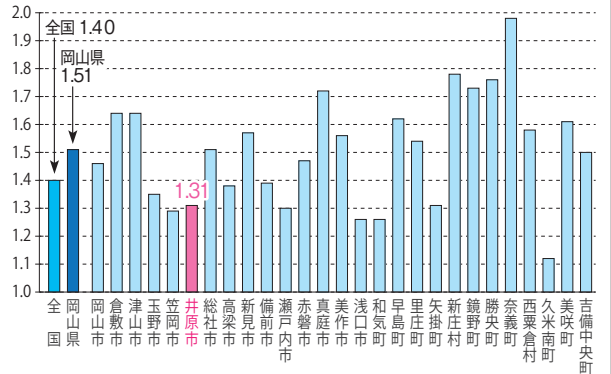
2015年の出生数
209人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

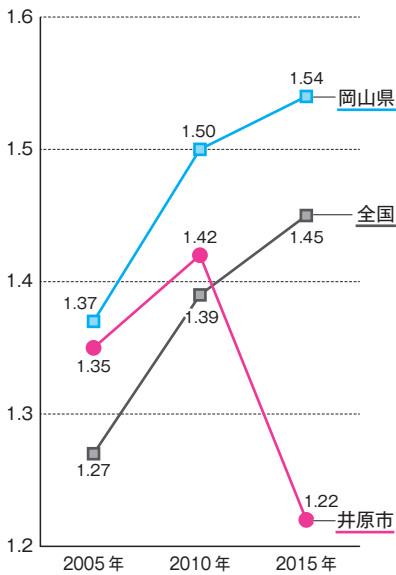
1.31

ベース推定値 1.46

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.08**
ポイント

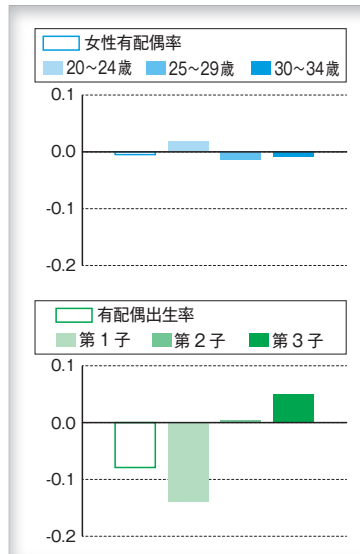


合計特殊出生率の推移

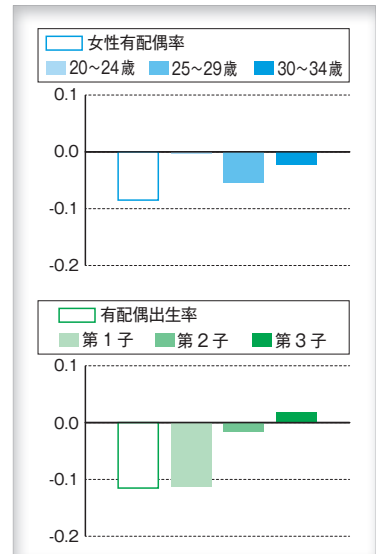


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

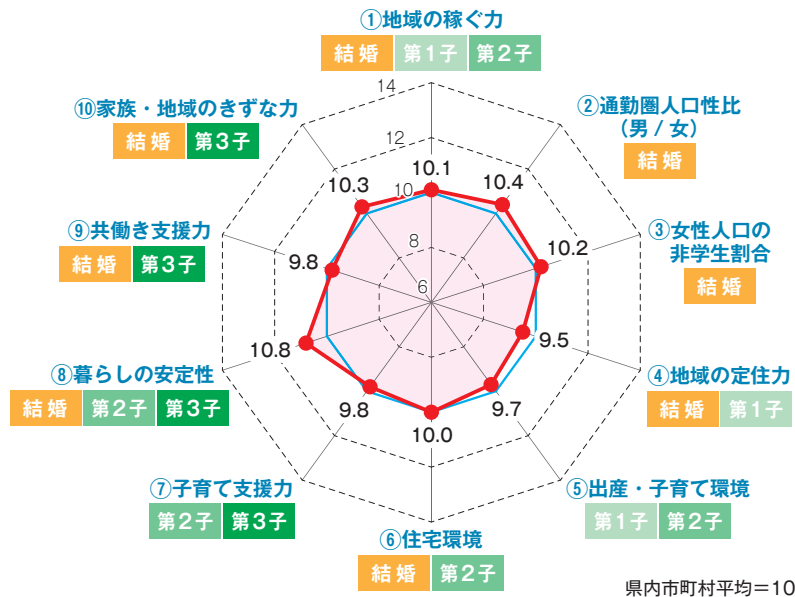
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

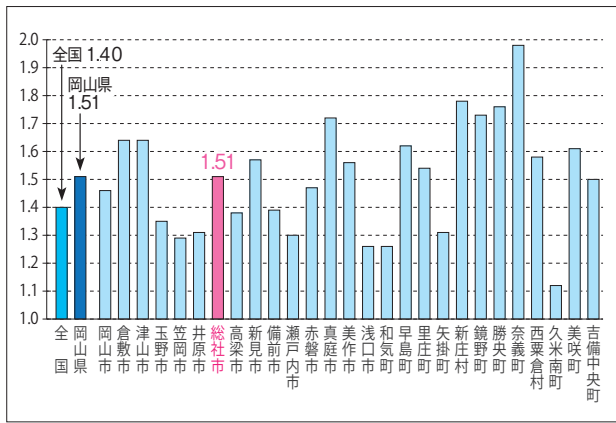


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



■有配偶率は、ほぼ全国平均並みであるものの、岡山県を下回っている。「④地域の定住力」と「⑨共働き支援力」が低いことがマイナスに影響していると考えられるが、県外の通勤先地域の影響等、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。

■有配偶出生率は、第1子が低く、第3子が高いという特徴がある。「④地域の定住力」と「⑤出産・子育て環境」が低いことが、第1子に対しマイナスに影響し、「⑧暮らしの安定性」等が平均を上回っていることが、第3子にプラスに影響していると考えられる。

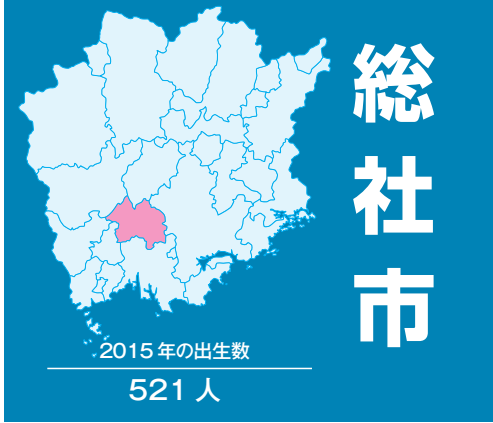


合計特殊出生率
(2011年-2015年)

1.51

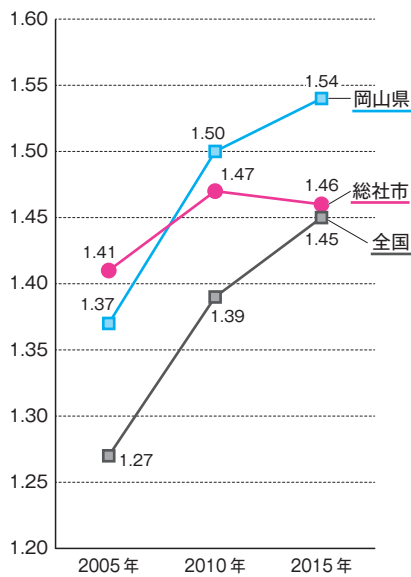
ベース推定値 **1.55**

合計特殊出生率の
全国との差 **+0.11**
(2011年-2015年) ポイント



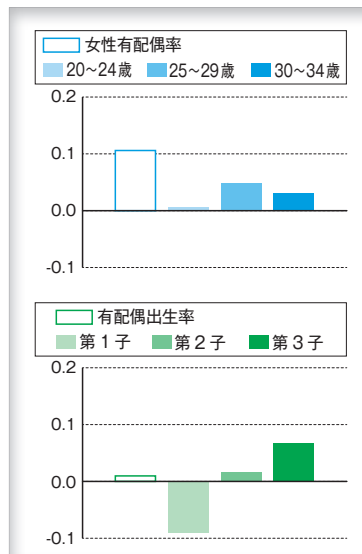
総社市

合計特殊出生率の推移

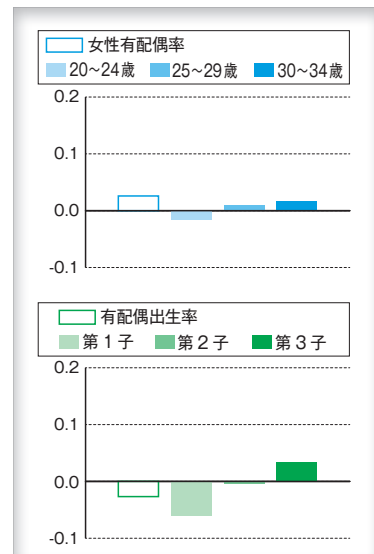


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

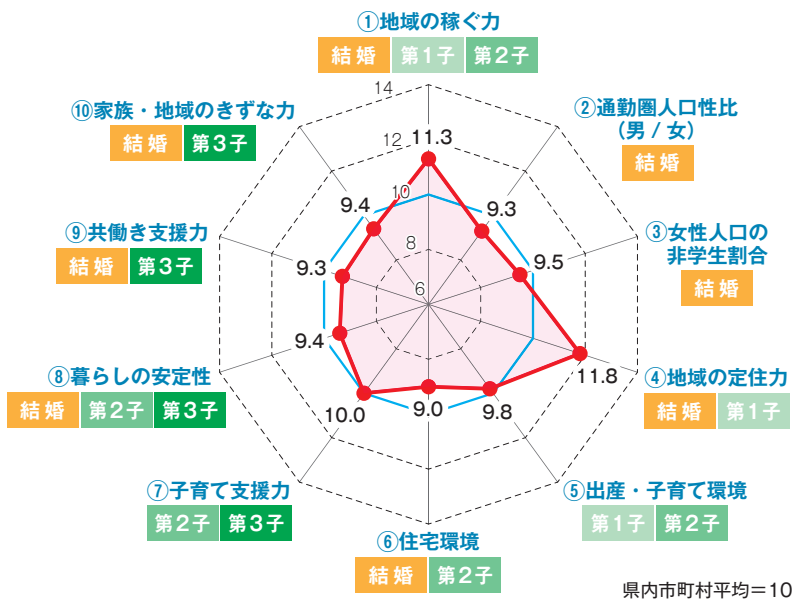
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)

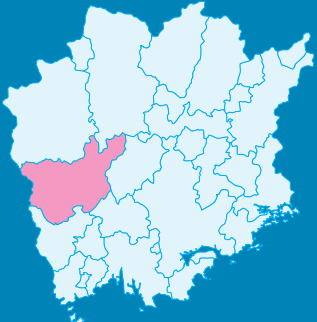


■有配偶率は、県の値に近く、「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が高い一方で、「②通勤圏人口性比」と「⑨共働き支援力」が低く、①、④の効果を打ち消していると考えられる。

■有配偶出生率は、第1子が低く、第3子が高くなっており、県内市町村の傾向として、第1子の有配偶出生率プラスの効果が見られる「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が高いことや、第3子の有配偶出生率プラスの効果が見られる「⑨共働き支援力」等が低くなっていることと食い違いが生じている。総社市の出生率には、多子世帯割合が市町村平均を上回っていること (2010年の市町村平均 14.9%、総社市 15.4%) など、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因が影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市**
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

高梁市



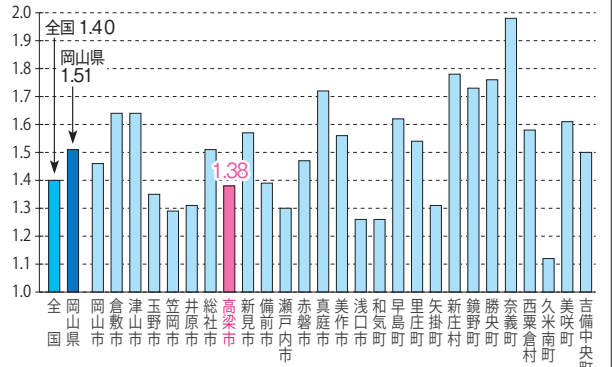
2015年の出生数
160人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

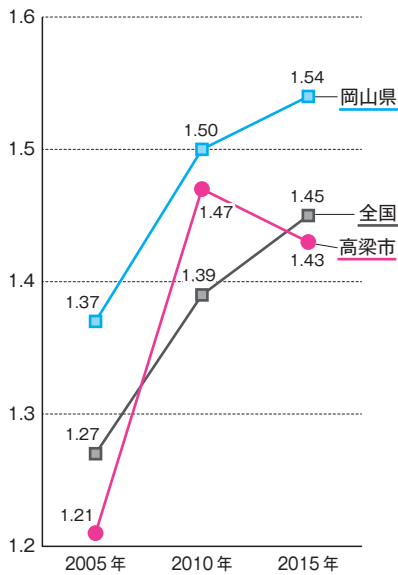
1.38

ベース推定値 1.44

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.02**
ポイント

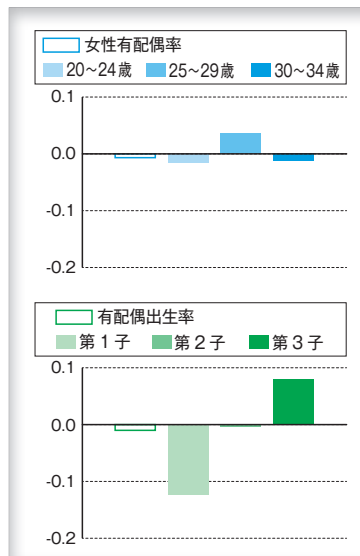


合計特殊出生率の推移

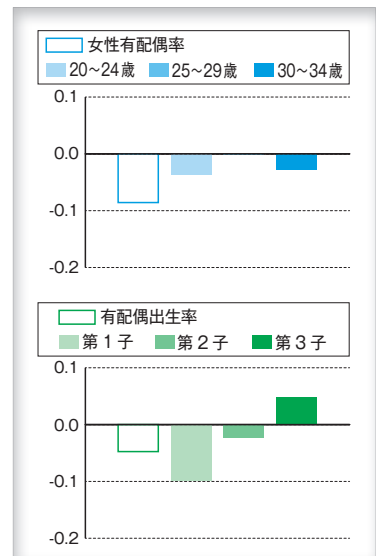


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

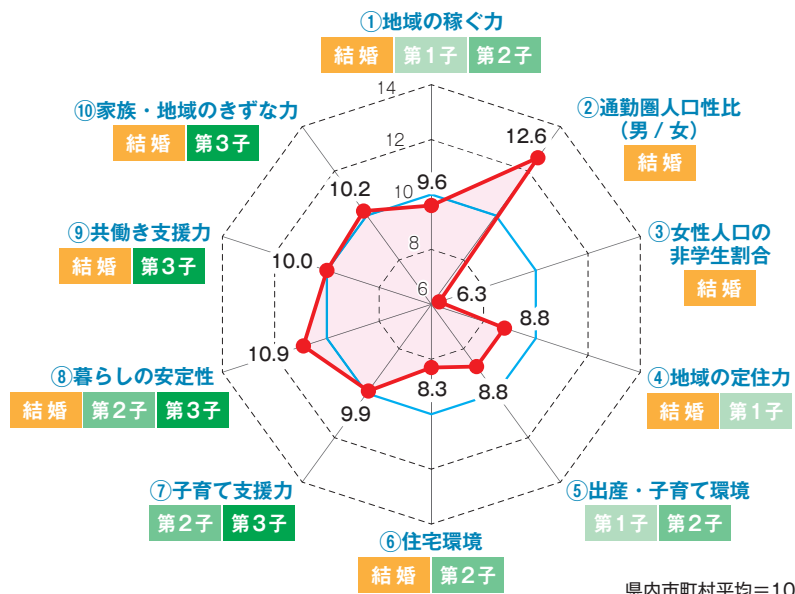
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

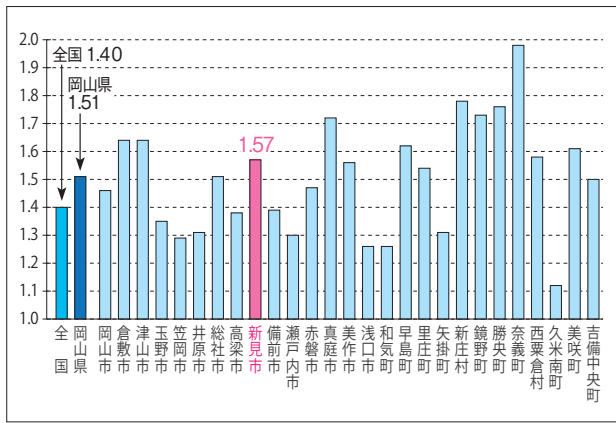


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



■有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、「③女性人口の非学生割合」が平均を大きく下回っていることがマイナスに影響していると考えられる。加えて、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」等も低いことが、マイナスに影響していると考えられる。

■第1子の有配偶出生率についても、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が低いことが、第1子にマイナスに影響していると考えられる。一方、「⑧暮らしの安定性」と「⑩家族・地域のきずな力」が高いことが、第3子にプラスに影響していると考えられる。

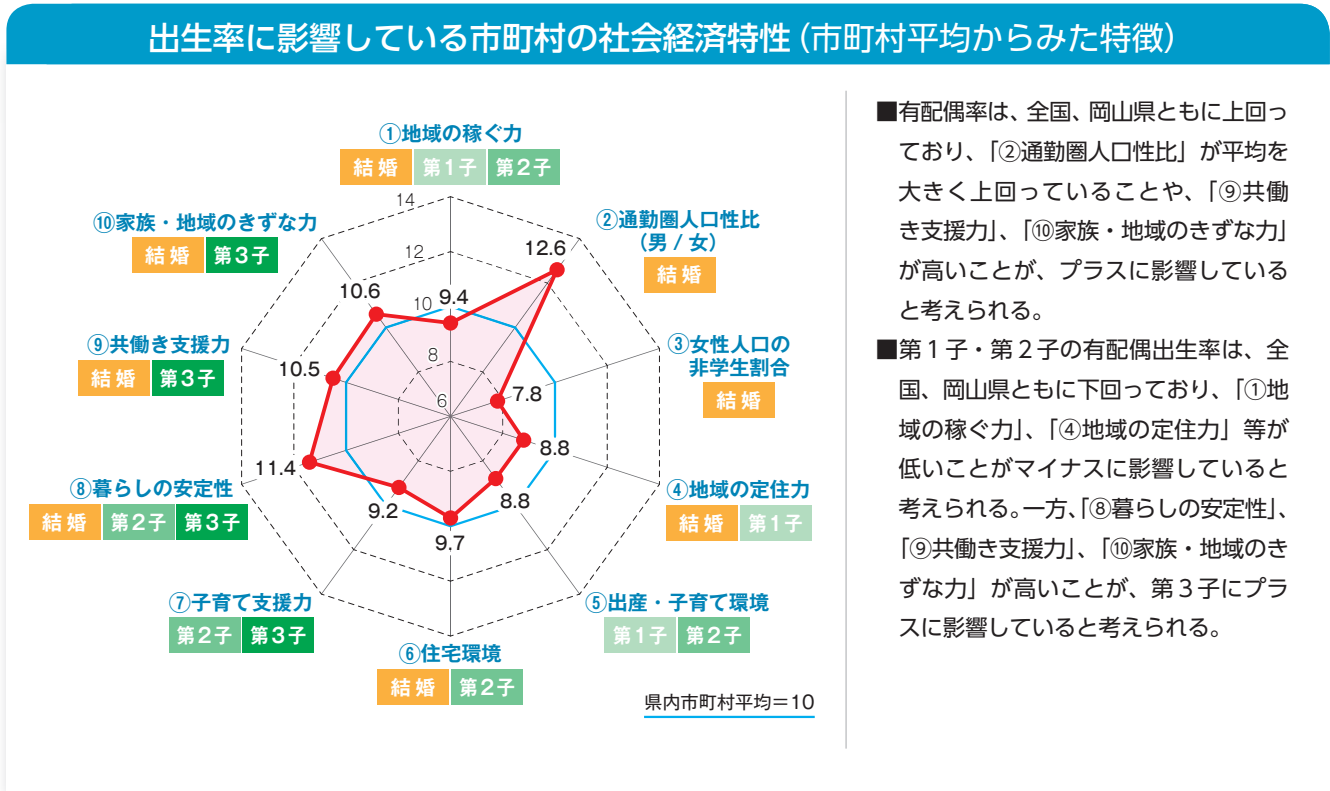
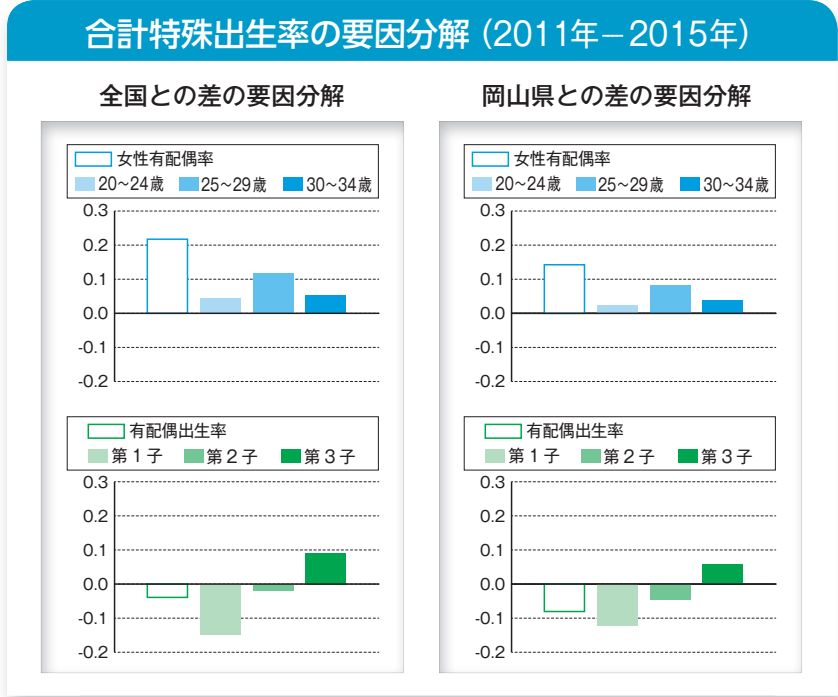
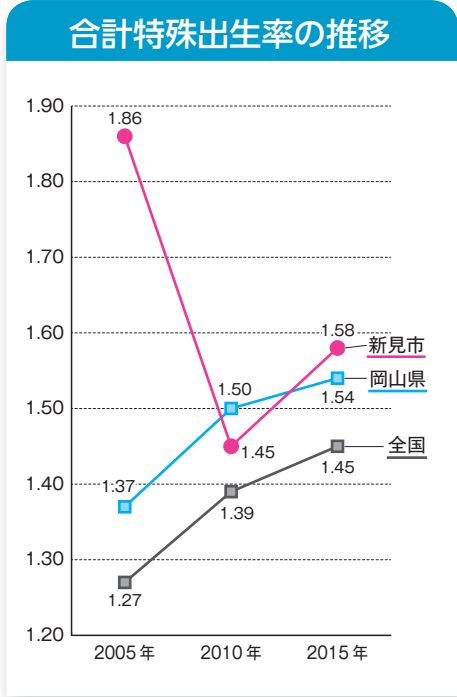
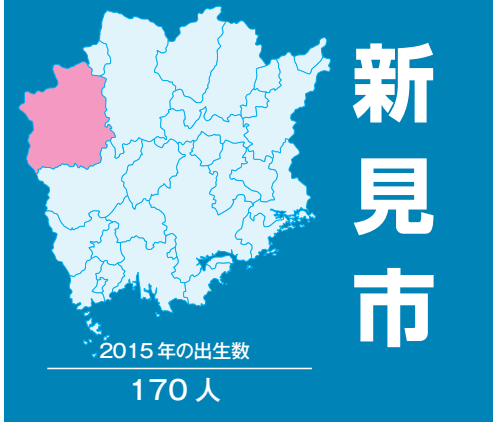


合計特殊出生率
(2011年-2015年)

1.57

ベイズ推定値 1.51

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.18**
ポイント

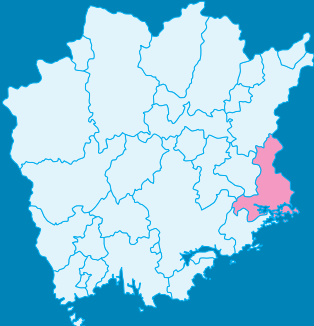


■有配偶率は、全国、岡山県ともに上回っており、「②通勤圏人口性比」が平均を大きく上回っていることや、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が高いことが、プラスに影響していると考えられる。

■第1子・第2子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」等が低いことがマイナスに影響していると考えられる。一方、「⑧暮らしの安定性」、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が高いことが、第3子にプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市**
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

備前市



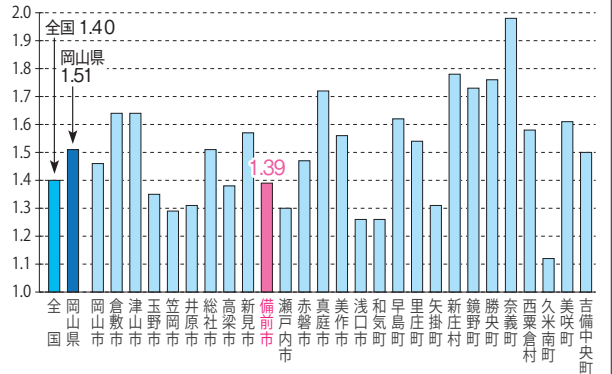
2015年の出生数
206人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

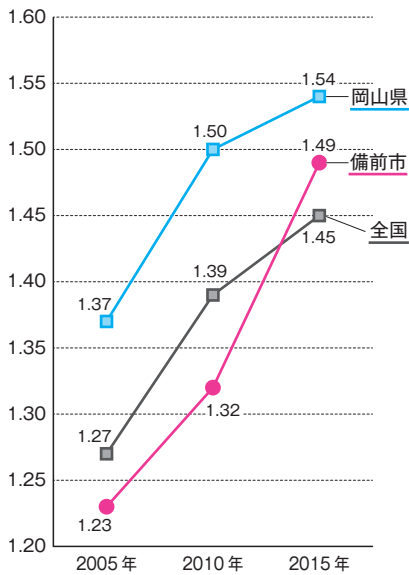
1.39

ベース推定値 1.43

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.01**
ポイント

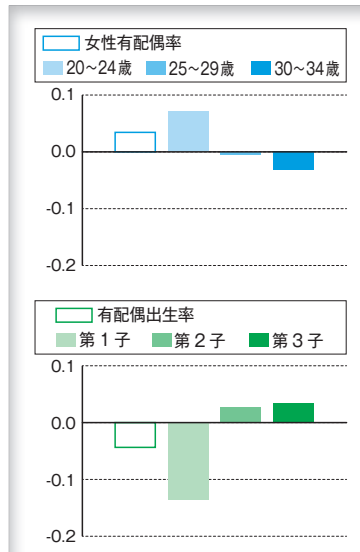


合計特殊出生率の推移

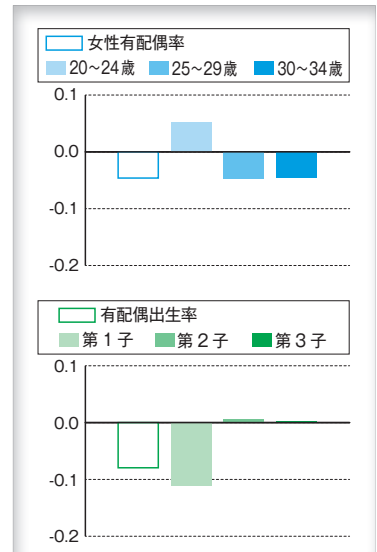


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

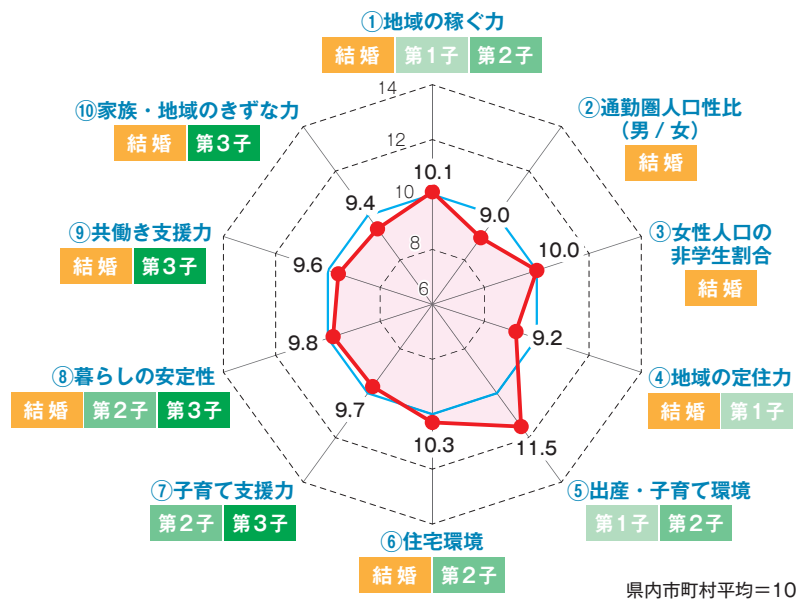
全国との差の要因分解



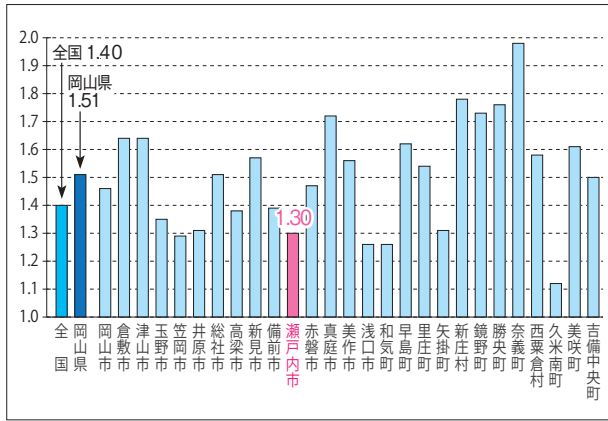
岡山県との差の要因分解



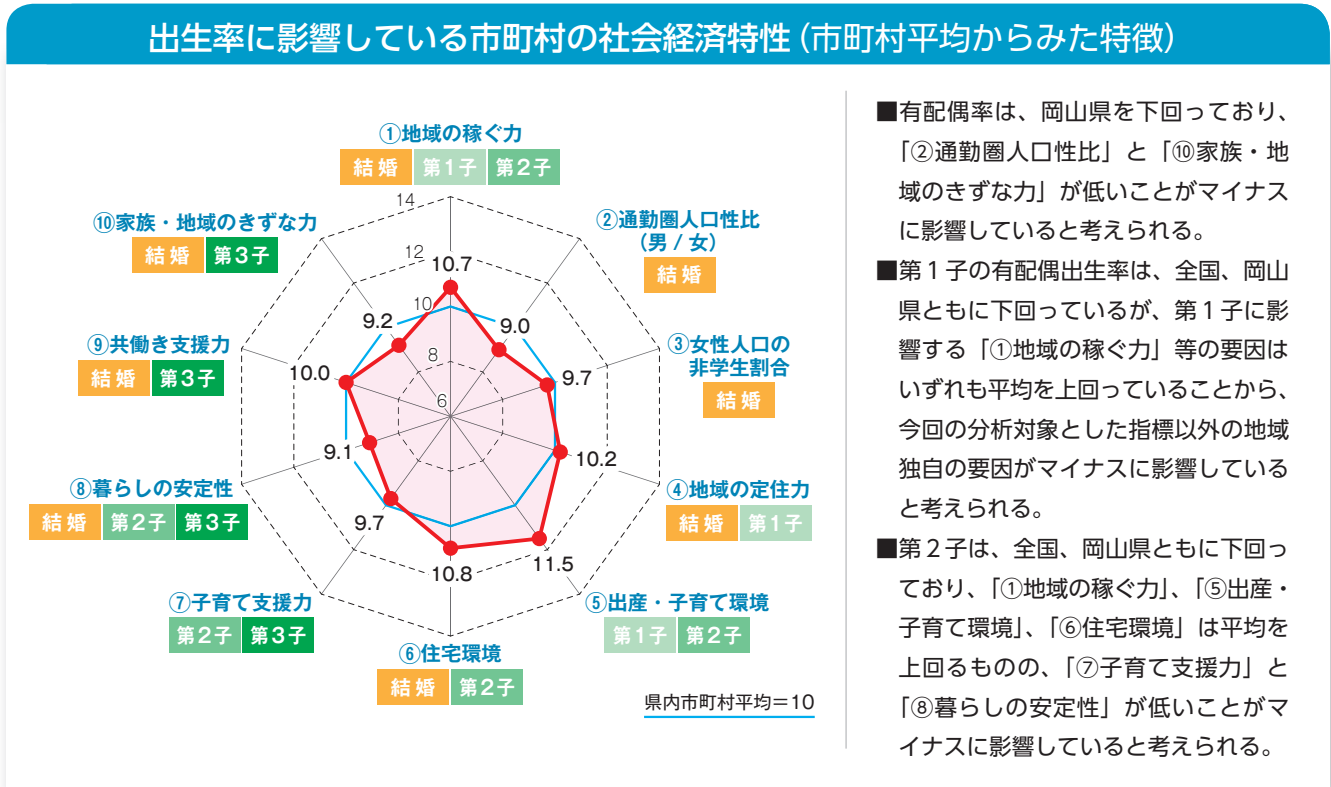
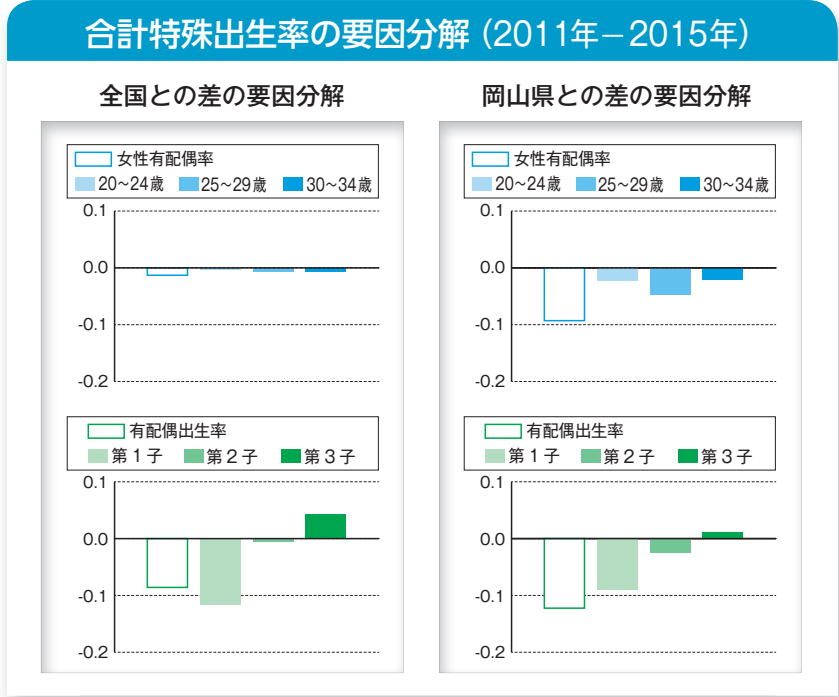
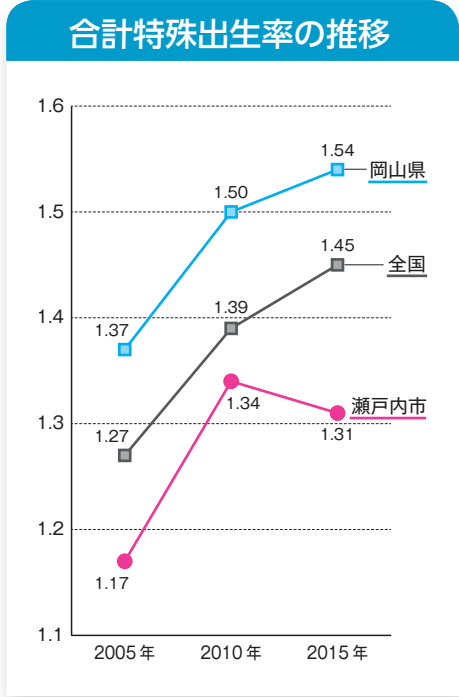
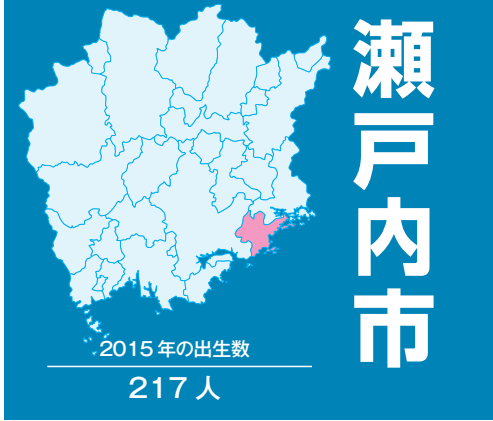
出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 有配偶率は、全国を上回るものの、岡山県より低い。「②通勤圏人口性比」のほか、「④地域の定住力」、「⑨共働き支援力」等が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 有配偶出生率は、第1子が低いことが特徴で、「④地域の定住力」が低いことが強くマイナスに影響していると考えられる。
- 第2子、第3子は、岡山県と同程度となっているが、「⑦子育て支援力」、「⑧暮らしの安定性」、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.30
ベイズ推定値 1.40
合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.10**
ポイント



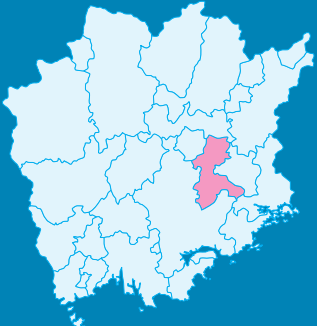
■有配偶率は、岡山県を下回っており、「②通勤圏人口性比」と「⑩家族・地域のきずな力」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

■第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っているが、第1子に影響する「①地域の稼ぐ力」等の要因は、いずれも平均を上回っていることから、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。

■第2子は、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」、「⑤出産・子育て環境」、「⑥住宅環境」は平均を上回るものの、「⑦子育て支援力」と「⑧暮らしの安定性」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西栗倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

赤磐市



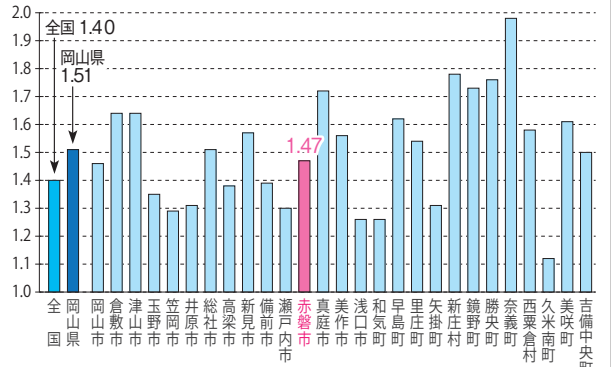
2015年の出生数
314人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

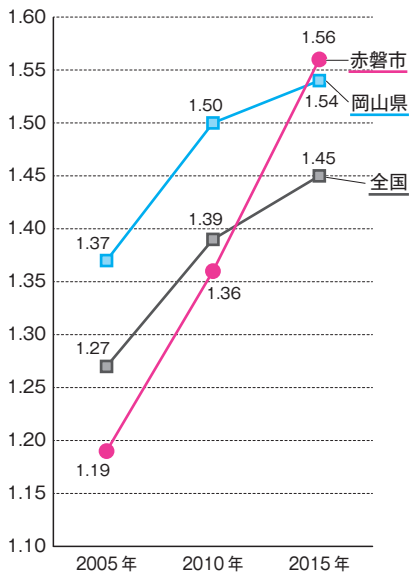
1.47

ベース推定値 1.45

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.08**
ポイント

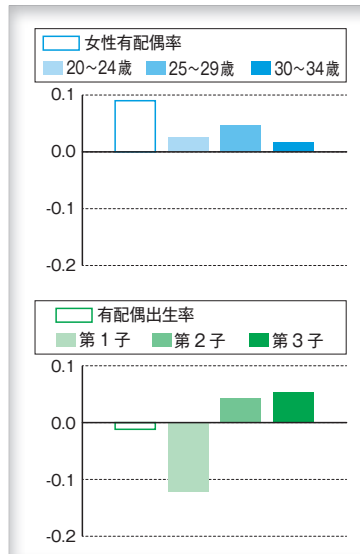


合計特殊出生率の推移

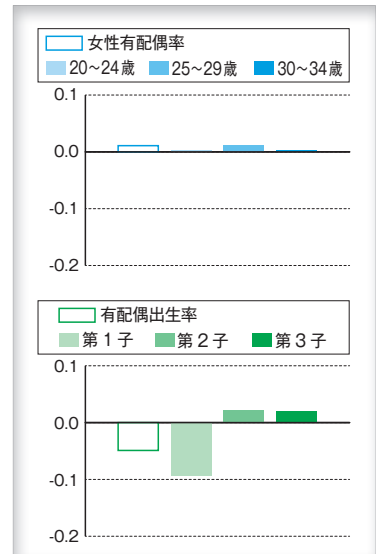


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

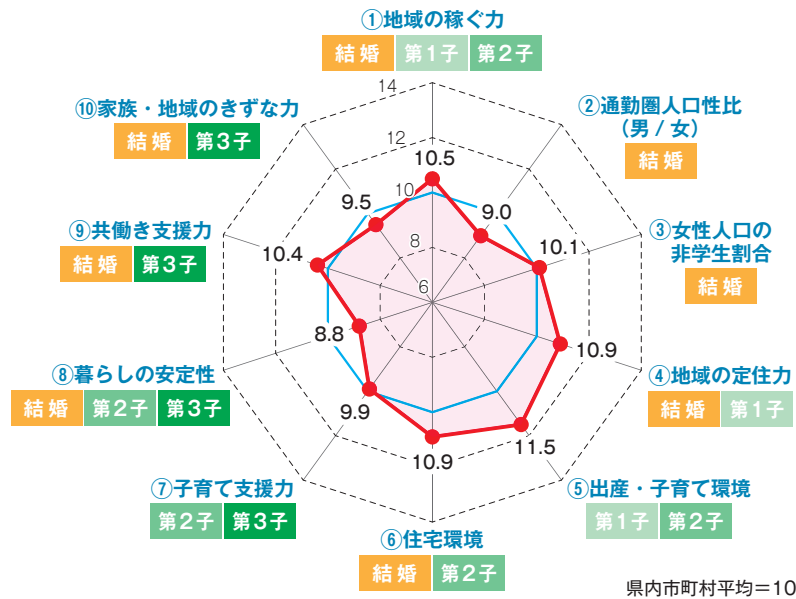
全国との差の要因分解



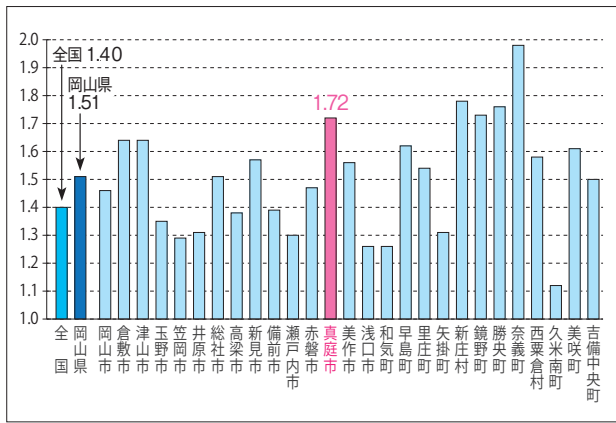
岡山県との差の要因分解



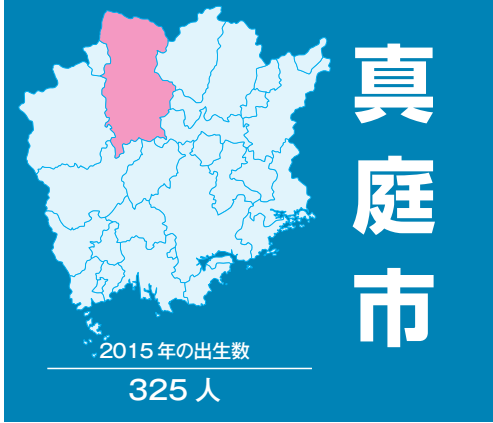
出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 有配偶率は、全国を上回るものの、どの年齢でも岡山県と同程度である。結婚に関わる要因は平均を上回るものが多いが、平均より低い「②通勤圏人口性比」がマイナスに影響していると考えられる。
- 第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っているが、第1子に関わる要因は平均を上回っており、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。
- 第2子、第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、「⑤出産・子育て環境」、「⑥住宅環境」、「⑨共働き支援力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

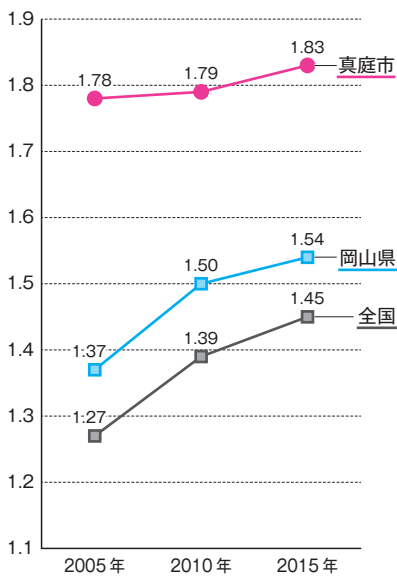


合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.72
ベイズ推定値 **1.72**
合計特殊出生率の
全国との差 **+0.33**
(2011年-2015年) ポイント



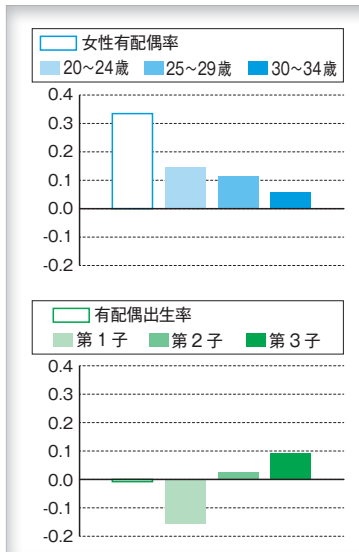
真庭市

合計特殊出生率の推移



合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

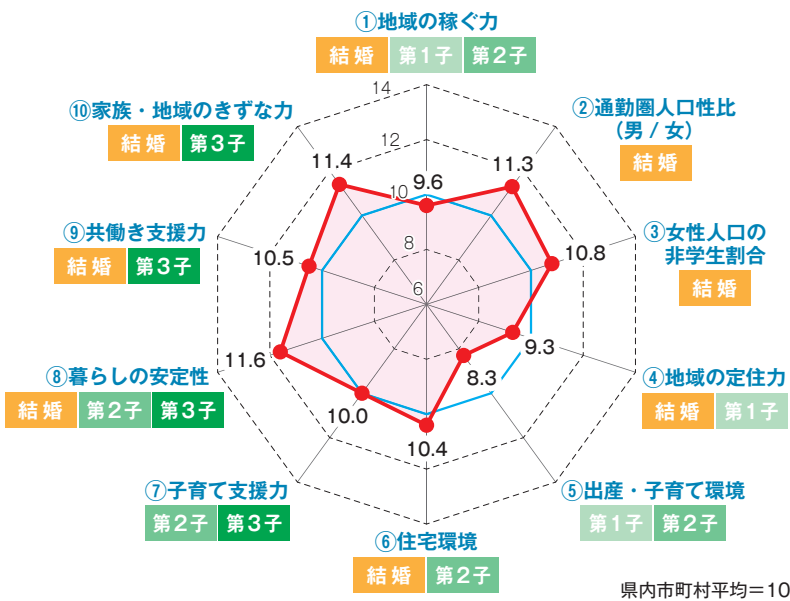
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)

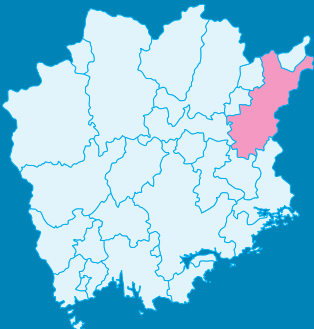


■ 20-24歳の若い年齢階層から有配偶率が高いことが特徴で、「①地域の稼ぐ力」は平均を下回るものの、結婚に関わる要因が全般に高くなっていることがプラスに影響していると考えられる。

■ 有配偶出生率は、第1子が低く、第3子が高くなっている。第1子には「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」、「⑤出産・子育て環境」が低いことがマイナスに影響し、第3子には「⑧暮らしの安定性」、「⑨共働き支援力」、「⑩家族・地域のきずな力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

美作市



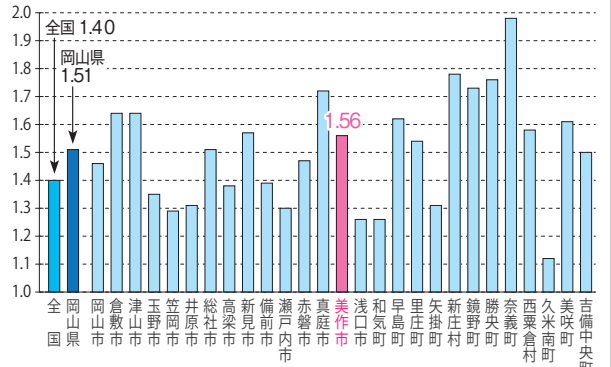
2015年の出生数
157人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

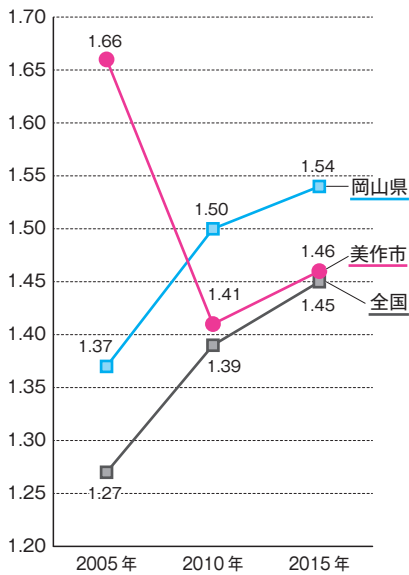
1.56

ベース推定値 1.62

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.17**
ポイント

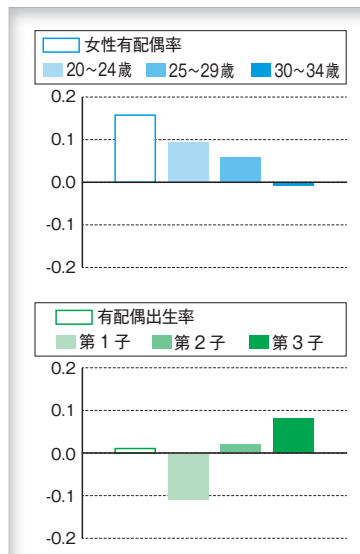


合計特殊出生率の推移

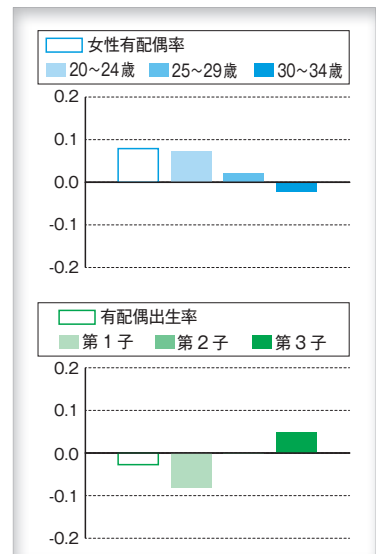


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

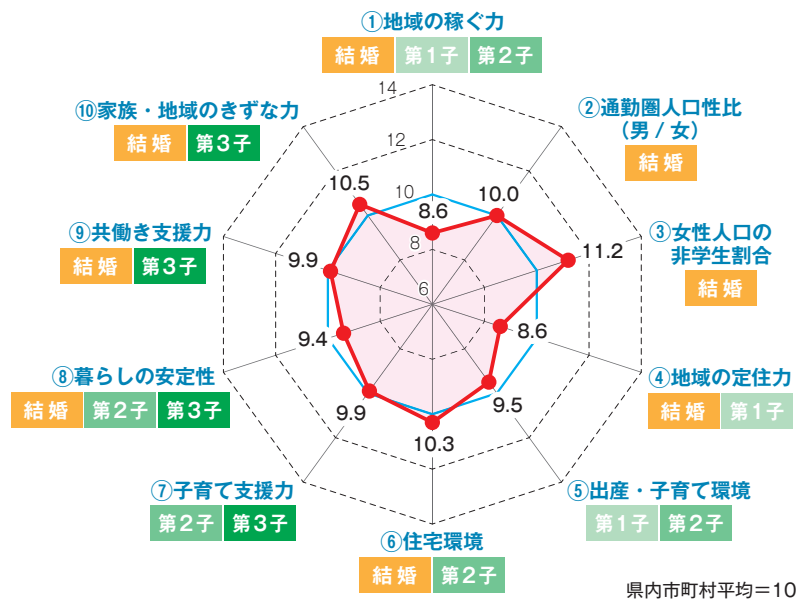
全国との差の要因分解



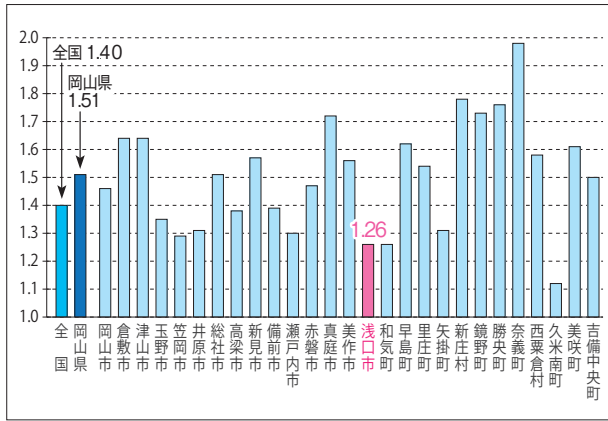
岡山県との差の要因分解



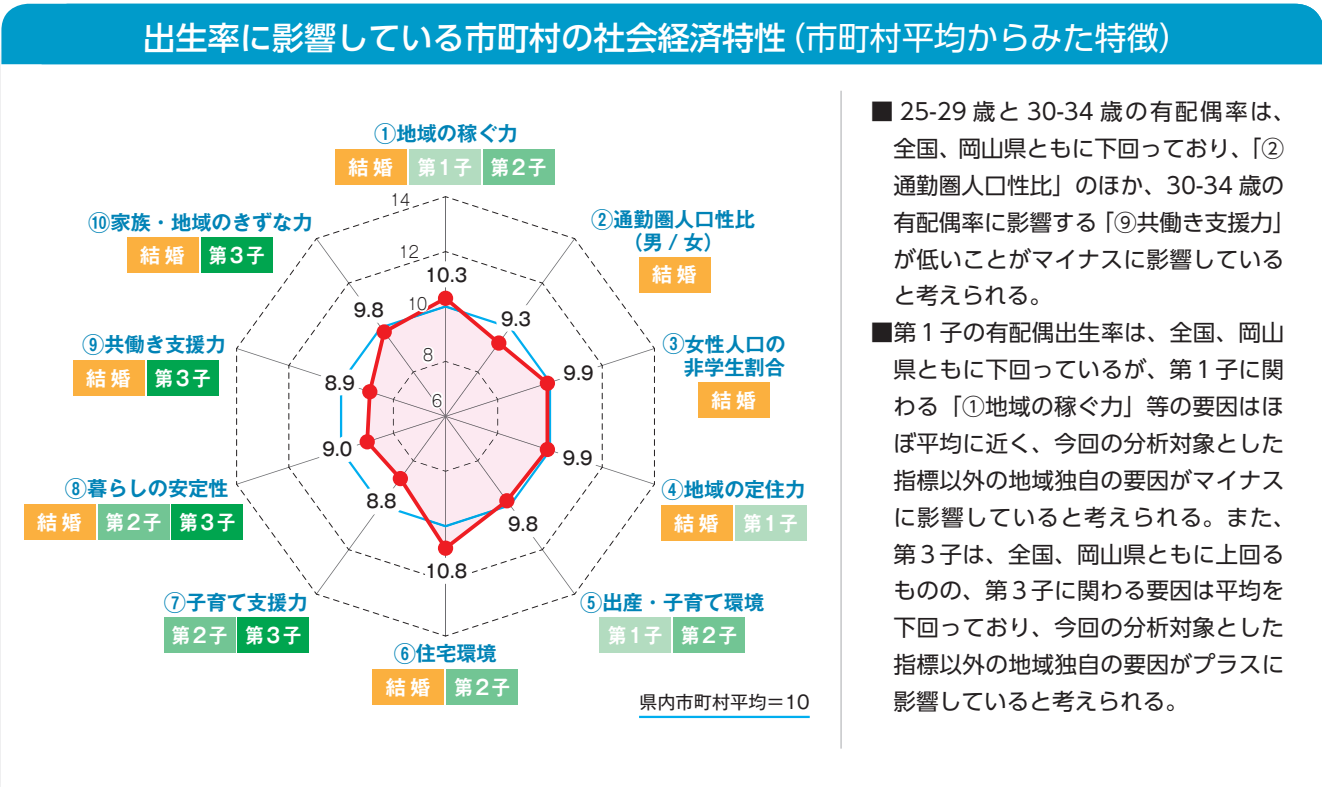
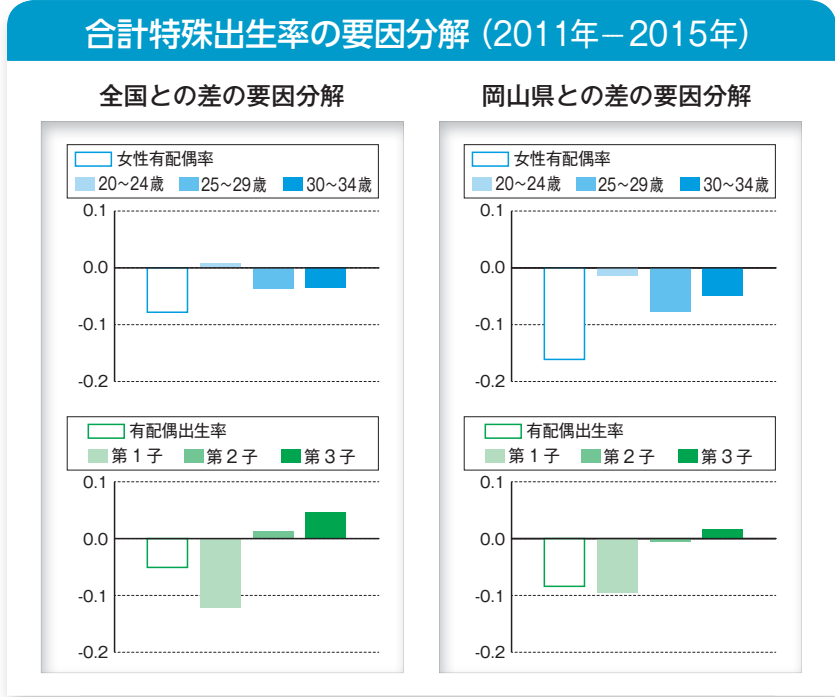
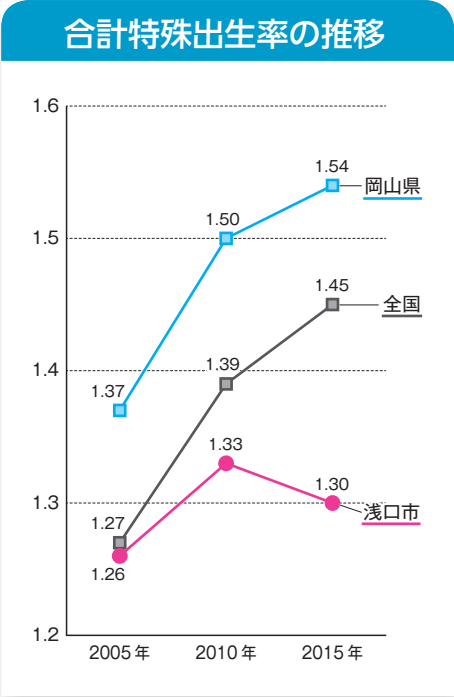
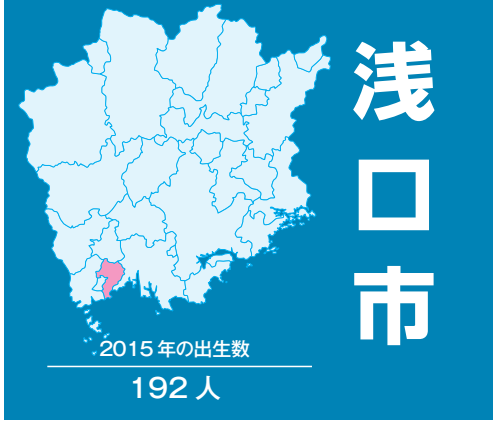
出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 若い年齢階層の有配偶率が高く、「③女性人口の非学生割合」、「⑥住宅環境」、「⑩家族・地域のきずな力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。
- 第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」、「⑤出産・子育て環境」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 第3子は、「⑧暮らしの安定性」がやや低いものの、第3子に関わるその他の要因が平均か、平均を上回っていることがプラスに影響していると考えられる。



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.26
ベイズ推定値 1.45
合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.13**
ポイント

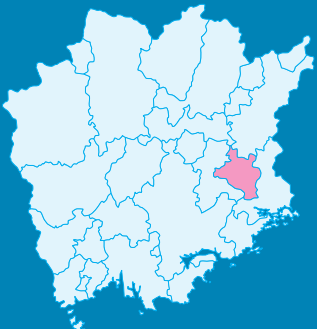


■ 25-29歳と30-34歳の有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、「②通勤圏人口性比」のほか、30-34歳の有配偶率に影響する「⑨共働き支援力」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

■ 第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っているが、第1子に関わる「①地域の稼ぐ力」等の要因はほぼ平均に近く、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。また、第3子は、全国、岡山県ともに上回るものの、第3子に関わる要因は平均を下回っており、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

和気町



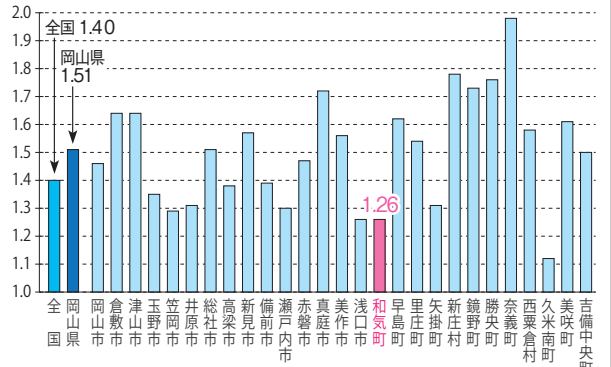
2015年の出生数
68人

合計特殊出生率
(2011年-2015年)

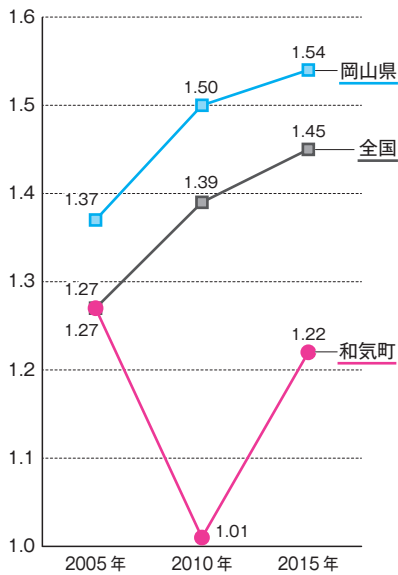
1.26

ベース推定値 1.43

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.13**
ポイント

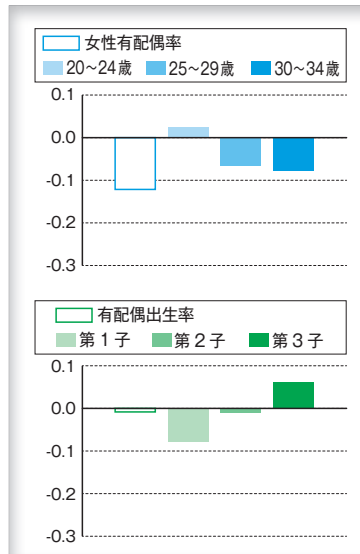


合計特殊出生率の推移

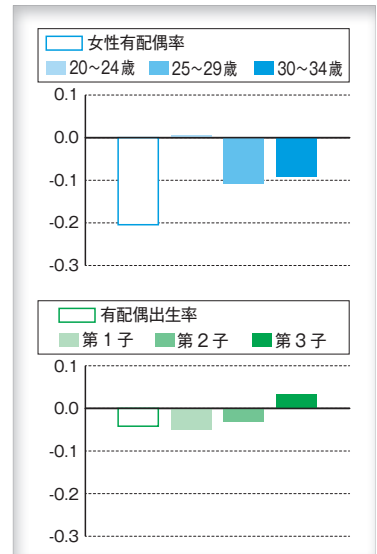


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

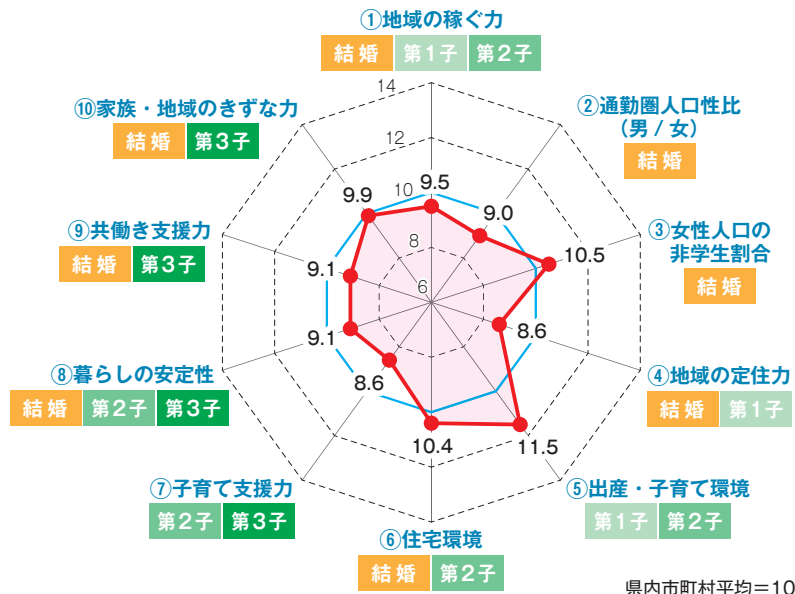
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

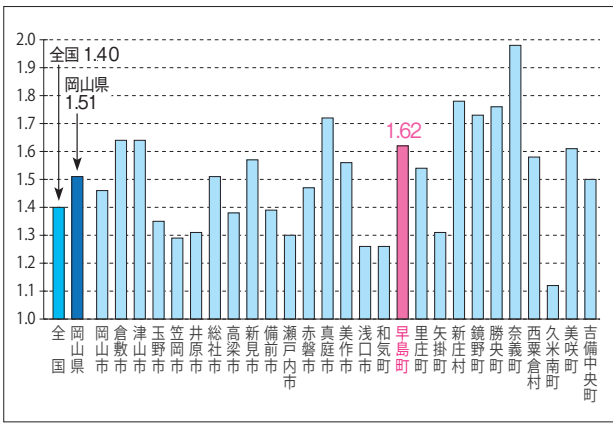


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 25-29歳と30-34歳の有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、「③女性人口の非学生割合」、「⑤出産・子育て環境」、「⑥住宅環境」を除き、全般に結婚に影響する要因が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 第3子は、全国、岡山県ともに上回っているものの、第3子に関わる要因は平均を下回っている。このため、和気町の出生率には、多子世帯割合が市町村平均を上回っていること(2010年の市町村平均14.9%、和気町15.9%)など、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因が影響していると考えられる。

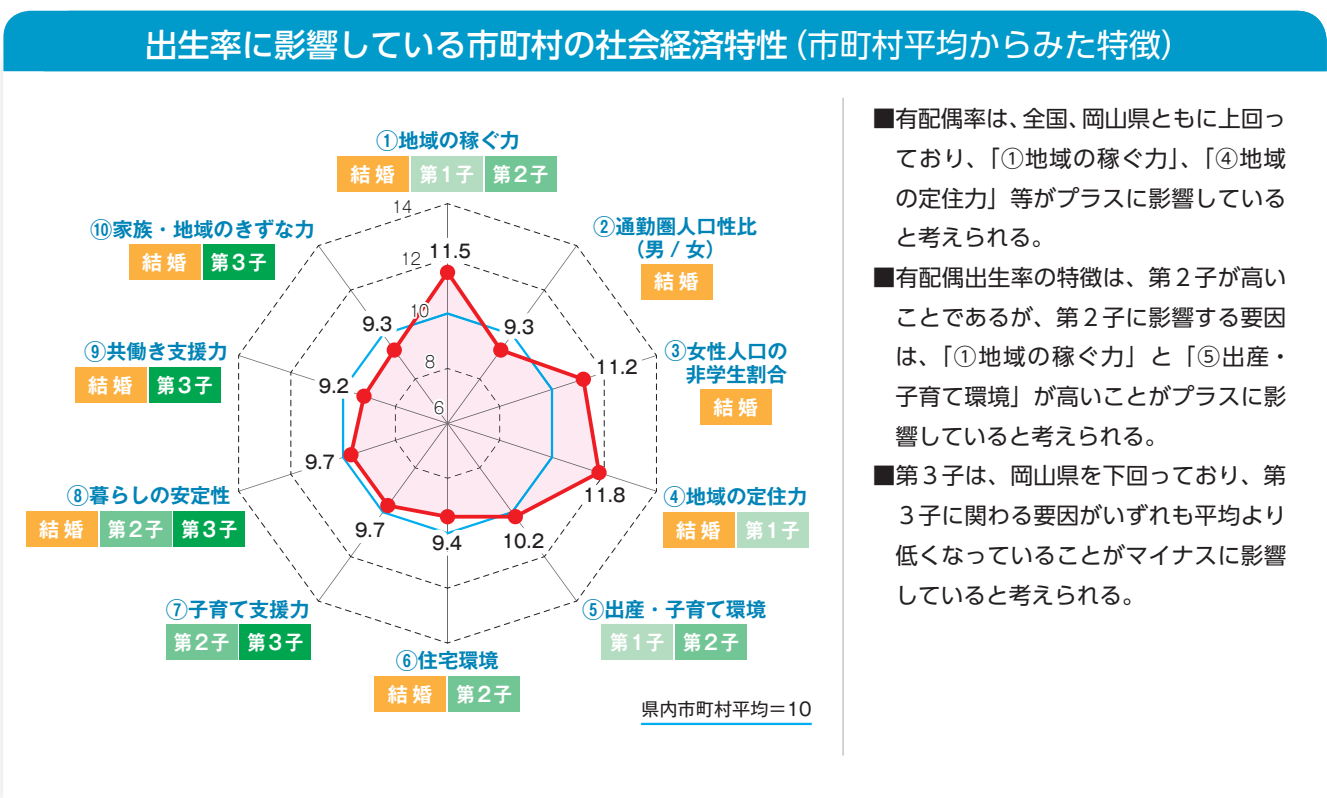
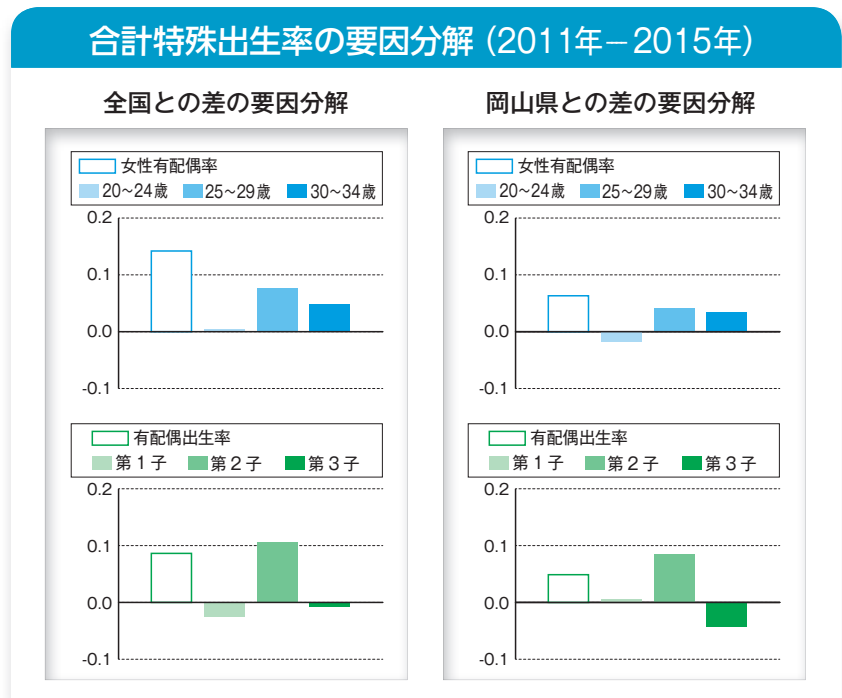
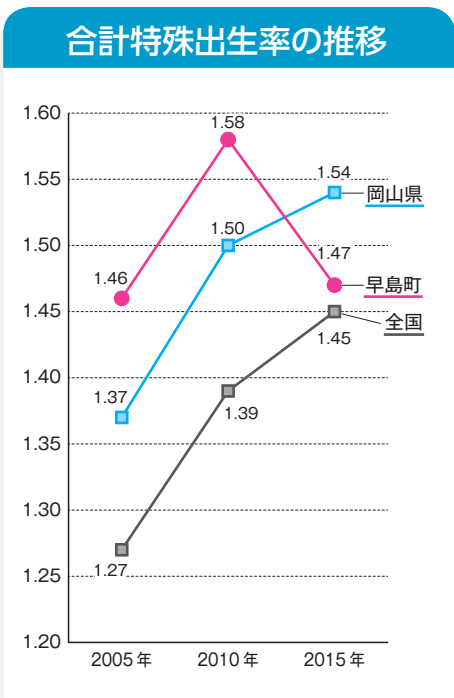
早島町



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.62

ベイズ推定値 1.58

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.23**
ポイント



■有配偶率は、全国、岡山県ともに上回っており、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」等がプラスに影響していると考えられる。

■有配偶出生率の特徴は、第2子が高いことであるが、第2子に影響する要因は、「①地域の稼ぐ力」と「⑤出産・子育て環境」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

■第3子は、岡山県を下回っており、第3子に関わる要因がいずれも平均より低くなっていることがマイナスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

里庄町



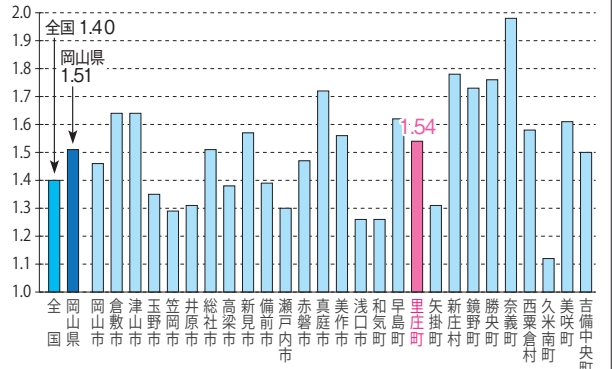
2015年の出生数
73人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

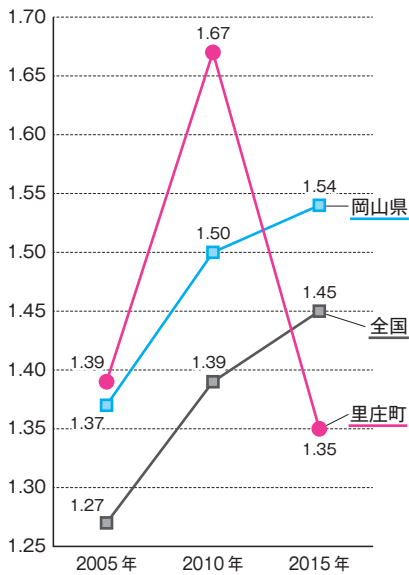
1.54

ベース推定値 1.56

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.15**
ポイント

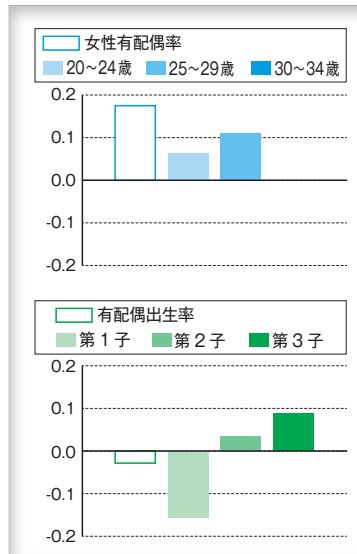


合計特殊出生率の推移

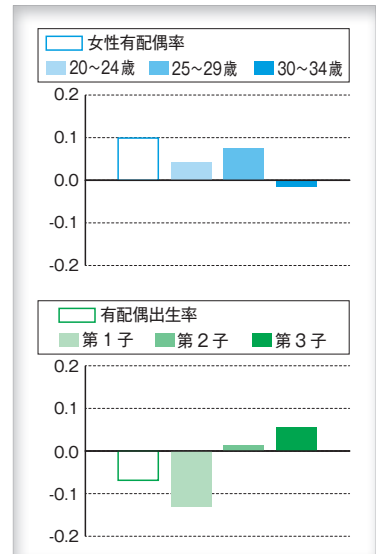


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

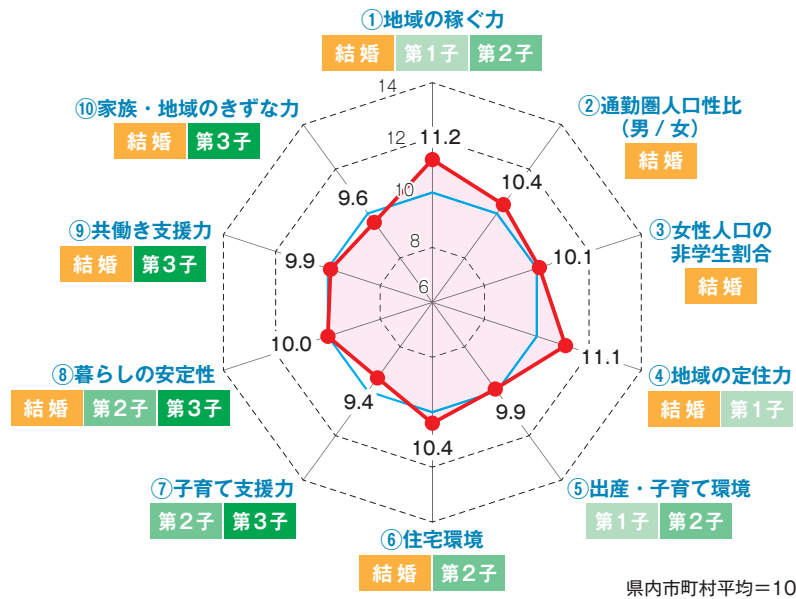
全国との差の要因分解



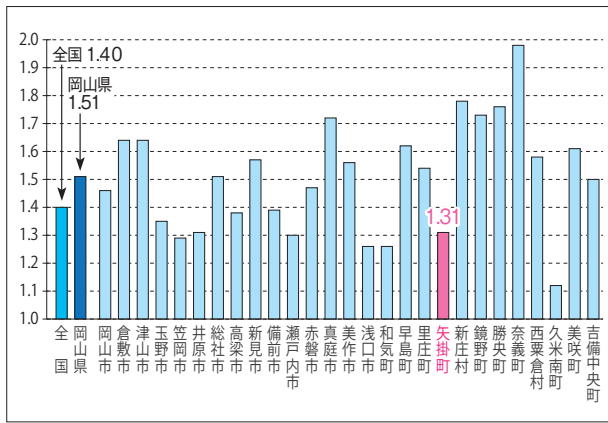
岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 20歳代の有配偶率が高いことが特徴である。「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」、「⑥住宅環境」など結婚に関わる要因が平均を上回るものが多いことがプラスに影響していると考えられる。
- 有配偶出生率については、第1子が全国、岡山県ともに下回っているものの、第1子に関わる要因は「⑤出産・子育て環境」を除き、平均を上回っていることから、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していると考えられる。
- 第2子、第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、「①地域の稼ぐ力」と「⑥住宅環境」が高いほか、その他の要因もほぼ平均に近いことがプラスに影響していると考えられる。

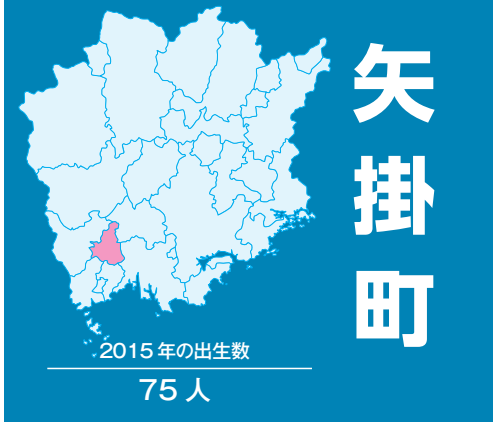


合計特殊出生率
(2011年-2015年)

1.31

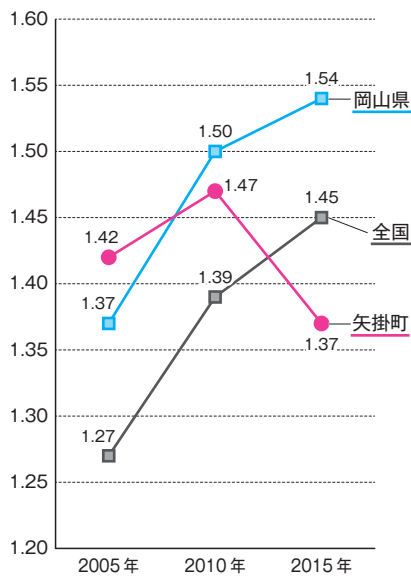
ベイズ推定値 1.52

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **-0.09**
ポイント



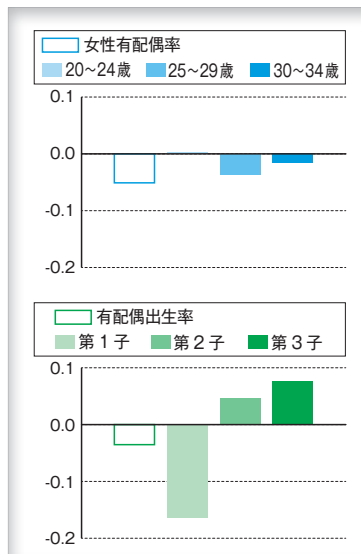
矢掛町

合計特殊出生率の推移

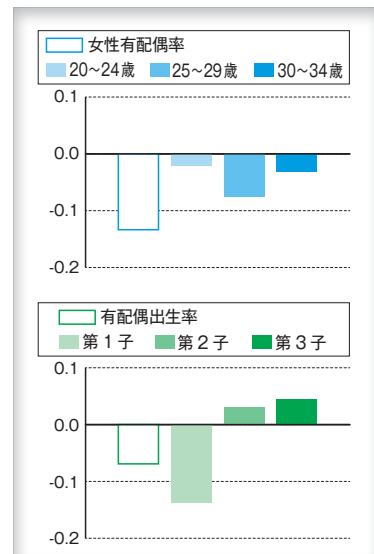


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

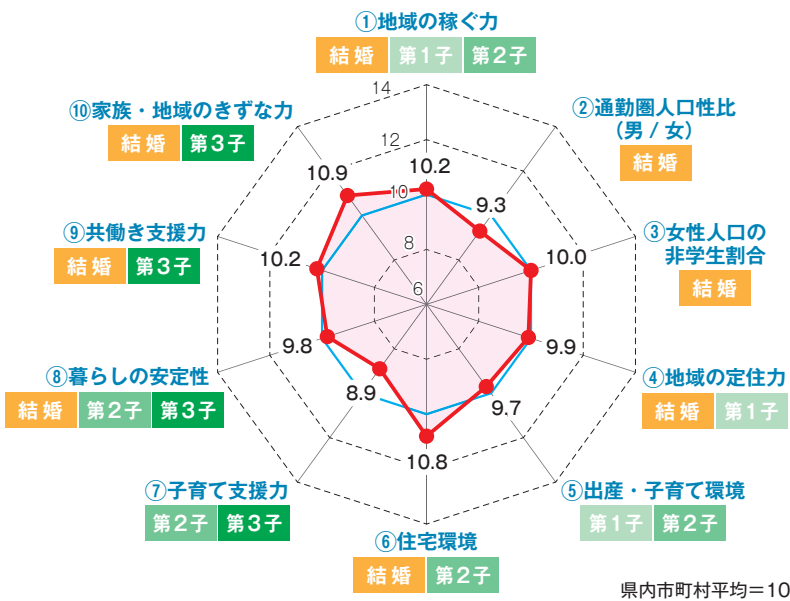
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



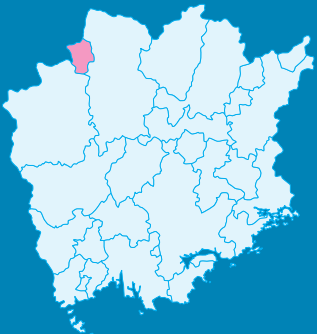
■有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、結婚に関わる要因は平均に近いものが多いが、「②通勤圏人口性比」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

■第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っているものの、第1子に関わる要因は平均に近く、今回の分析対象とした指標以外の地域独自の要因がマイナスに影響していることが考えられる。

■第2子・第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、第2子には「⑥住宅環境」、第3子には「⑨共働き支援力」と「⑩家族・地域のきずな力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

新庄村



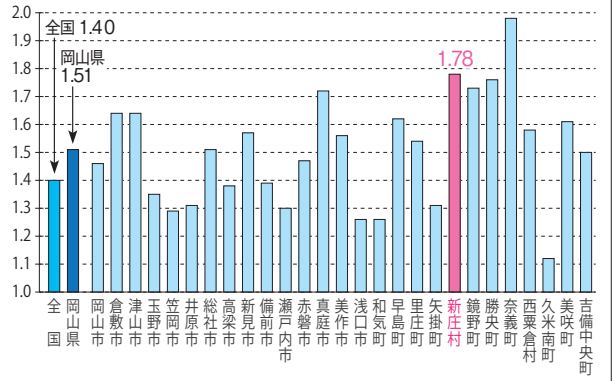
2015年の出生数
3人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

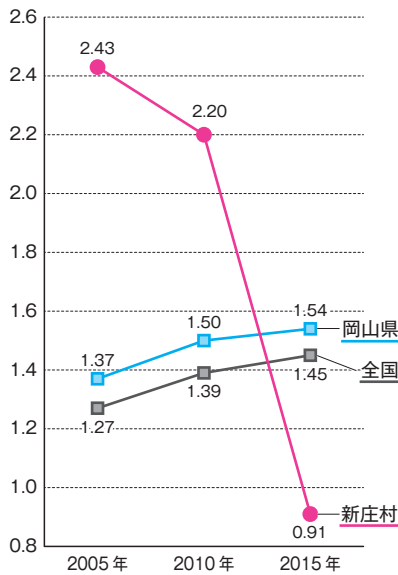
1.78

ベース推定値 1.72

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.39**
ポイント

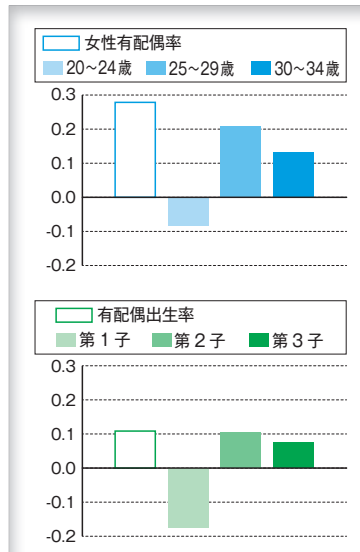


合計特殊出生率の推移

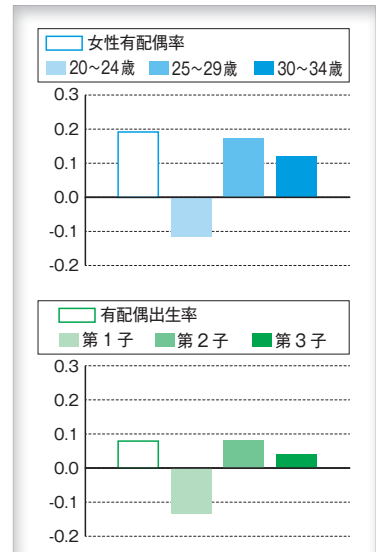


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

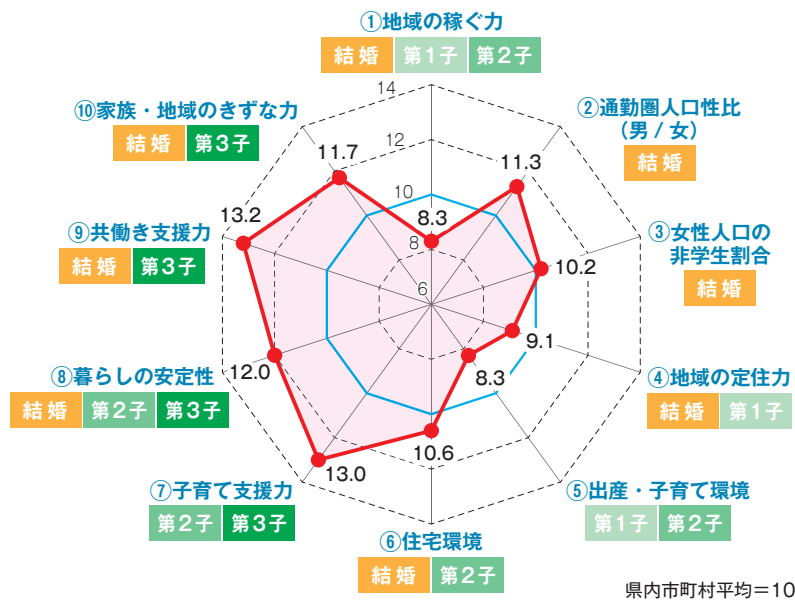
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

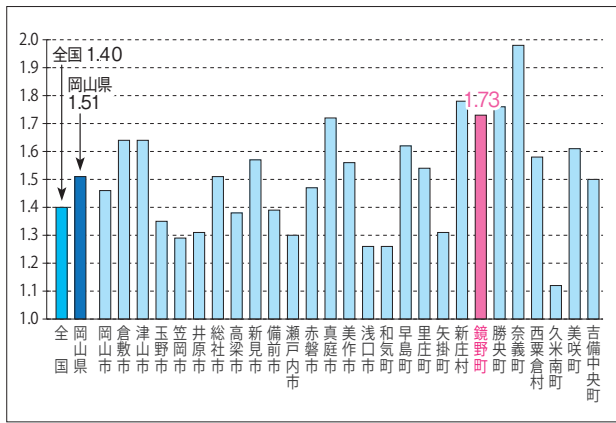


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



■有配偶率は、20-24歳が低く、25-29歳と30-34歳が高いことが特徴である。「①地域の稼ぐ力」や「④地域の定住力」が平均より低い、「②通勤圏人口性比」が高く、また、30-34歳の有配偶率に影響する「⑨共働き支援力」が平均を上回るなど、それぞれの要因が有配偶率の傾向に影響していると考えられる。

■第1子出生率の低さには「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」が低いことがマイナスに影響し、第2子と第3子には「⑥住宅環境」、「⑦子育て支援力」、「⑧暮らしの安定性」、「⑨共働き支援力」等が高いことがプラスに影響していると考えられる。

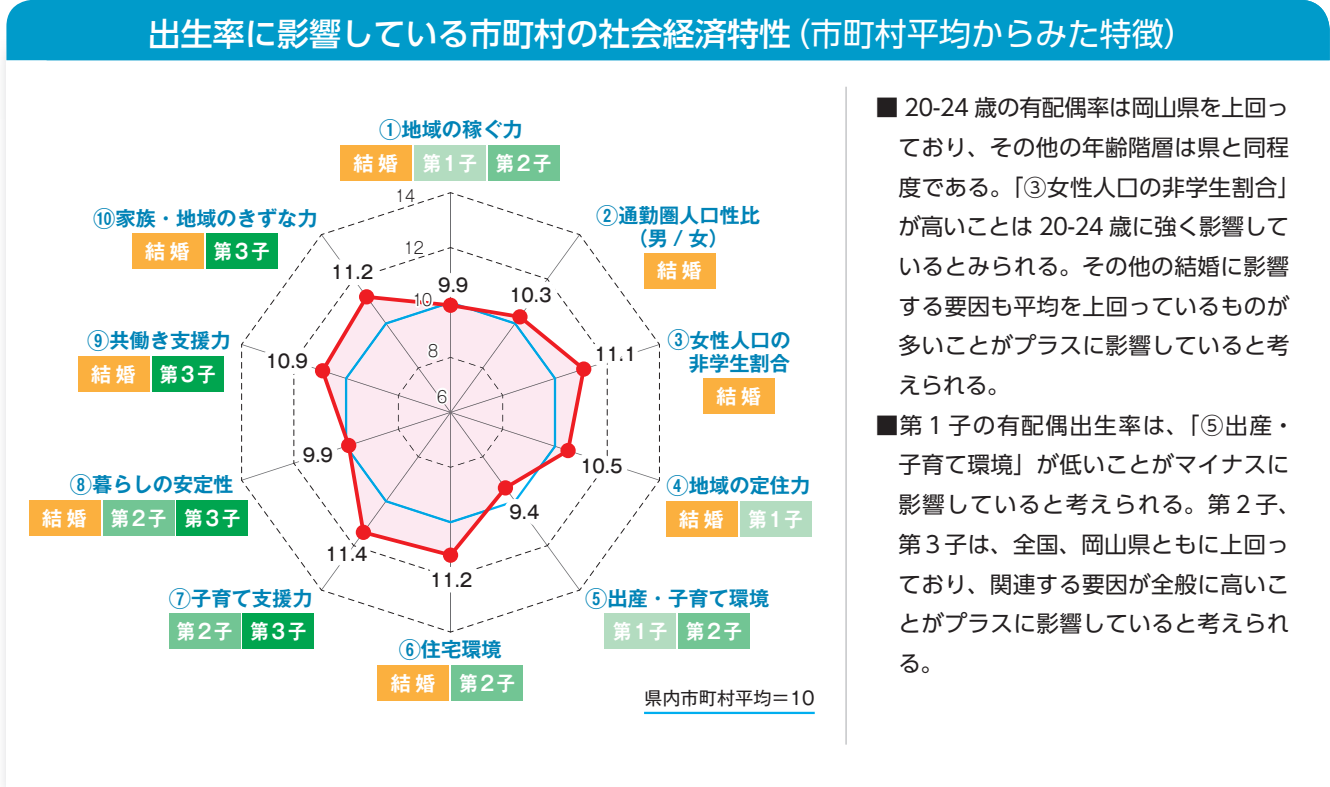
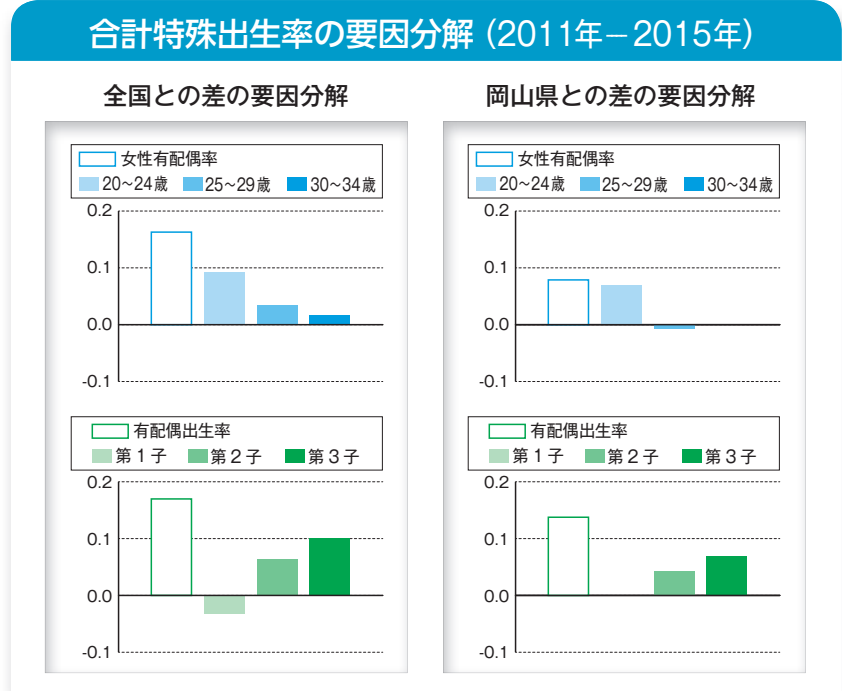
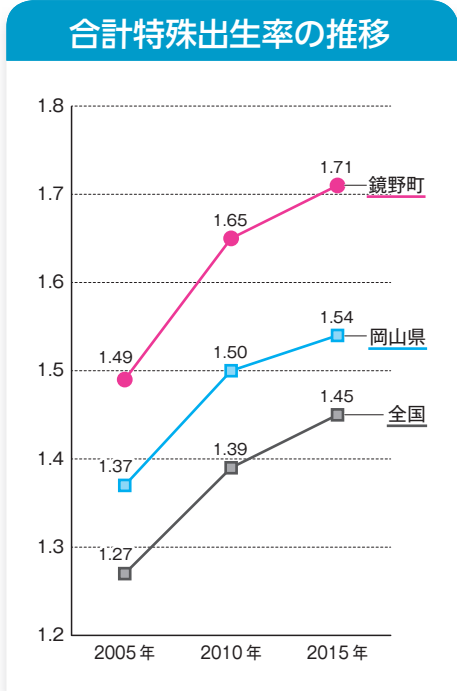
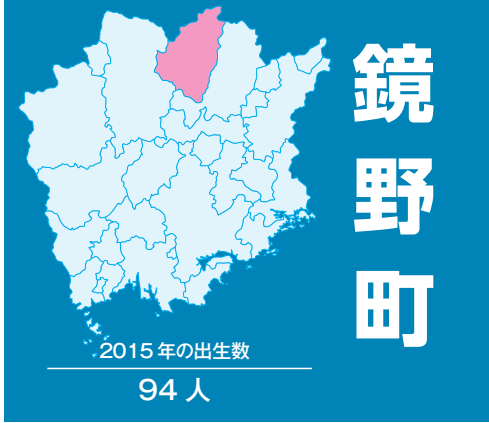


合計特殊出生率
(2011年-2015年)

1.73

ベイズ推定値 1.66

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+ 0.33**
ポイント

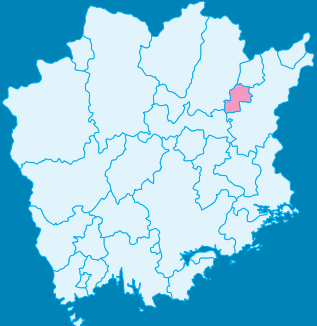


■ 20-24歳の有配偶率は岡山県を上回っており、その他の年齢階層は県と同程度である。「③女性人口の非学生割合」が高いことは20-24歳に強く影響しているとみられる。その他の結婚に影響する要因も平均を上回っているものが多いことがプラスに影響していると考えられる。

■ 第1子の有配偶出生率は、「⑤出産・子育て環境」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。第2子、第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、関連する要因が全般に高いことがプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

勝央町



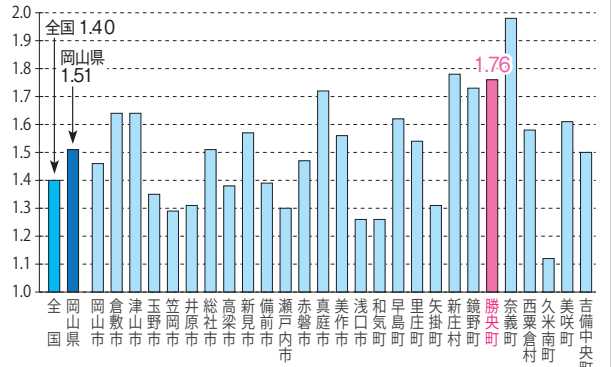
2015年の出生数
110人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

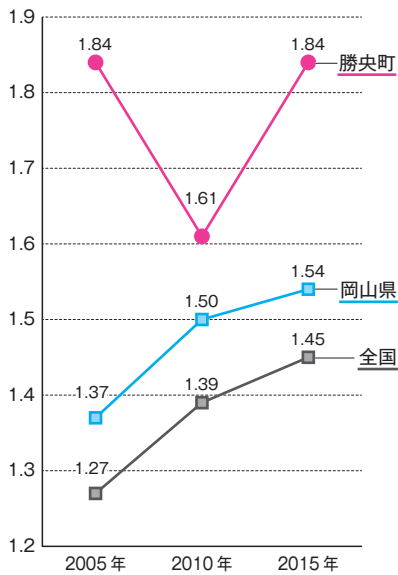
1.76

ベース推定値 1.66

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.36**
ポイント

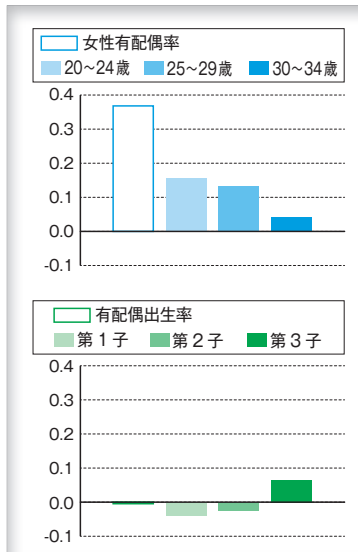


合計特殊出生率の推移

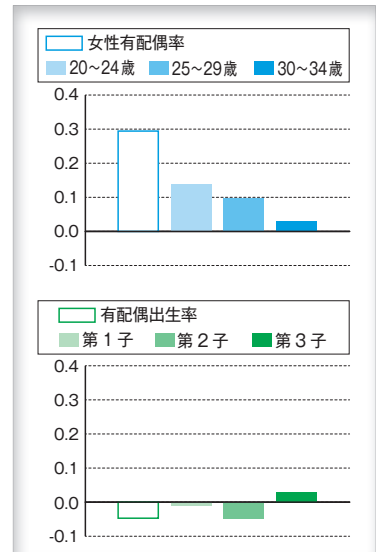


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

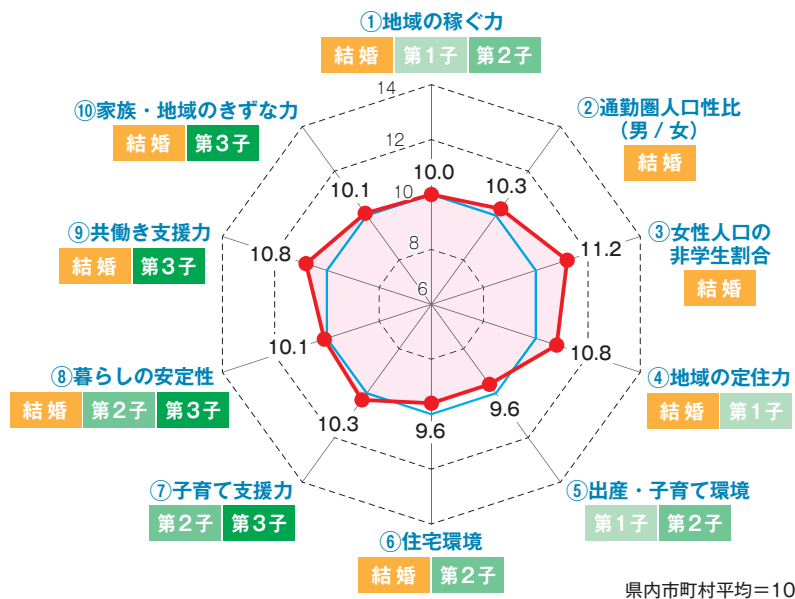
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解



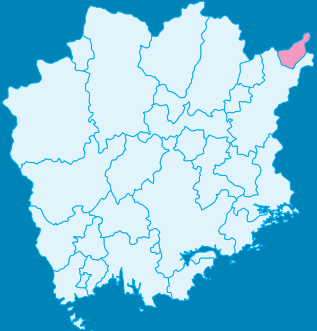
出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



■有配偶率は、どの年齢階層も、全国、岡山県ともに上回っており、結婚に関わる要因は平均程度か、平均を上回っていることがプラスに影響していると考えられる。

■有配偶出生率は、第3子が岡山県を上回るものの、全体的に県に近い。有配偶出生率に関わる要因も平均に近いものが多い。その中で、第1子、第2子に影響する「⑤出産・子育て環境」と「⑥住宅環境」が平均を下回っていることがマイナスに影響していると考えられる。

西粟倉村



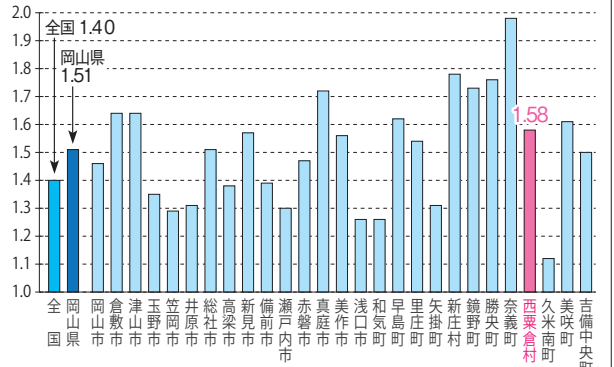
2015年の出生数
4人

合計特殊出生率
(2011年-2015年)

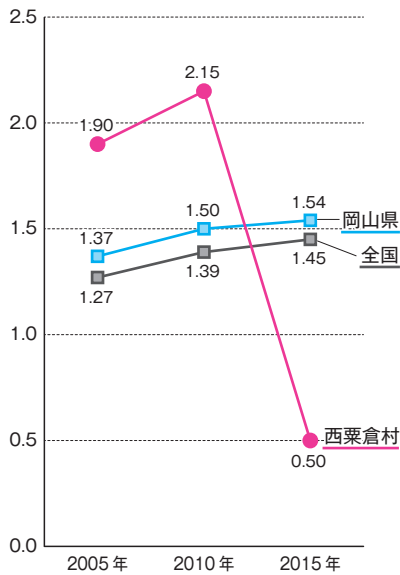
1.58

ベース推定値 1.64

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.19**
ポイント

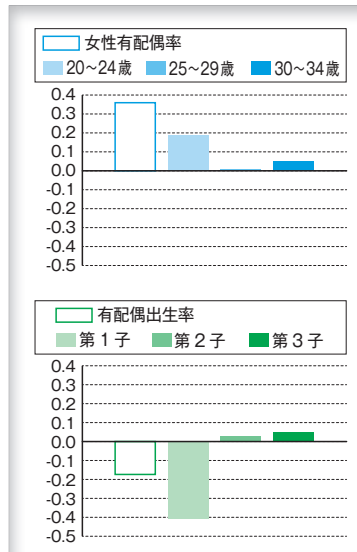


合計特殊出生率の推移

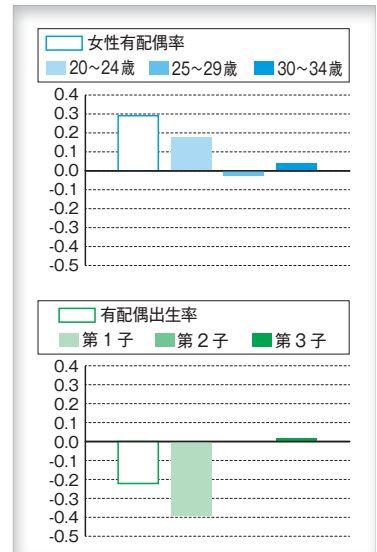


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

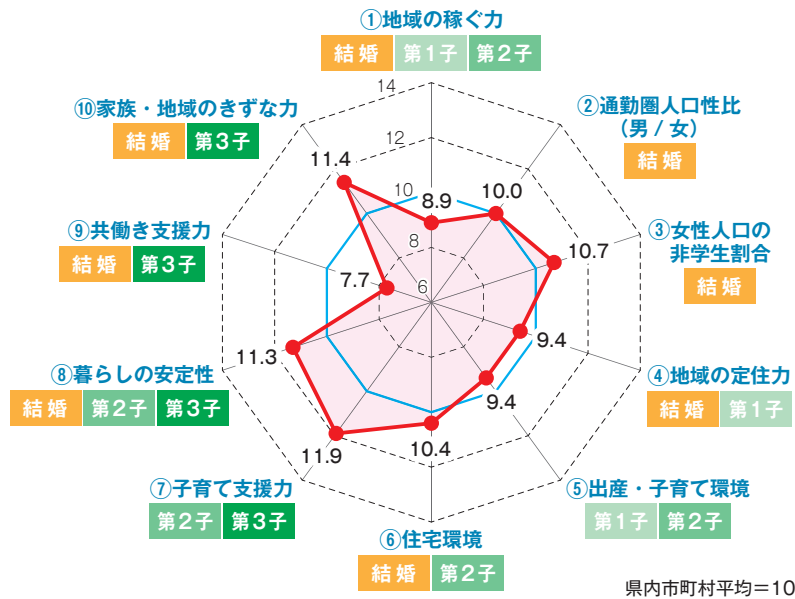
全国との差の要因分解



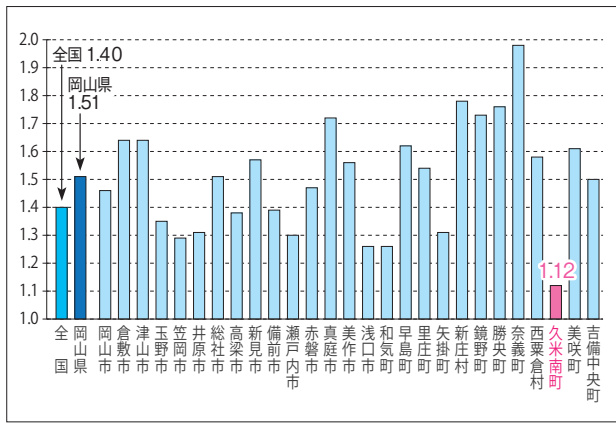
岡山県との差の要因分解



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 20-24 歳有配偶率が岡山県を上回っていることが特徴であるが、「③女性人口の非学生割合」が高いことがプラスに影響していると考えられる。25-29 歳と 30-34 歳は県と近く、「②通勤圏人口性比」等が平均に近いことが影響していると考えられる。
- 第 1 子の有配偶出生率については、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」、「④地域の定住力」等が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 第 3 子は、岡山県と同程度であるものの、「⑨共働き支援力」が低いことが、他の関連要因の高さを打ち消している可能性が考えられる。

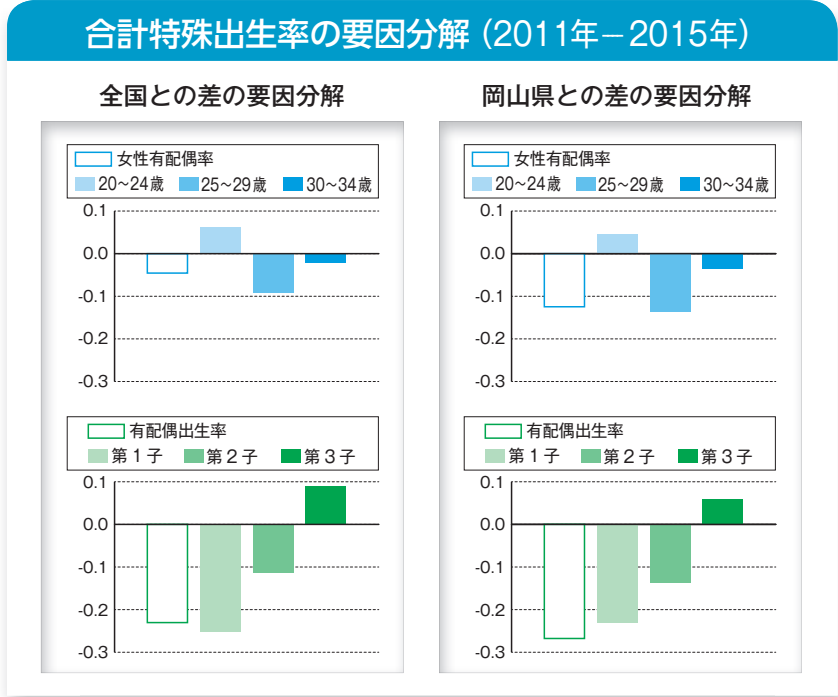
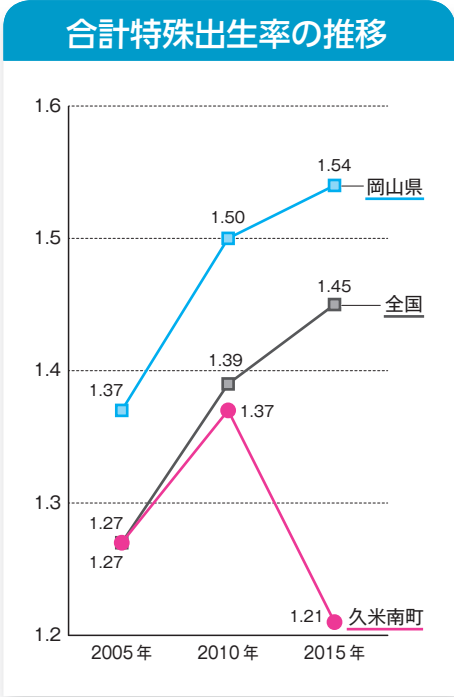
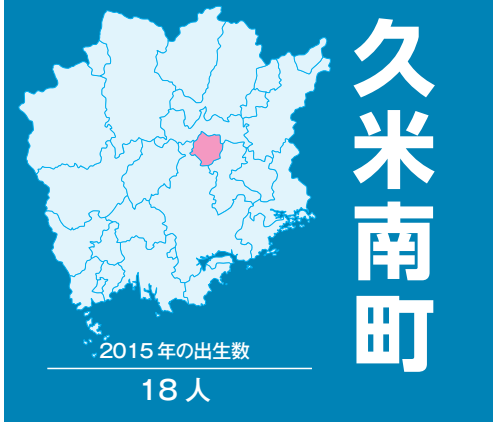


合計特殊出生率
(2011年-2015年)

1.12

ベイズ推定値 1.62

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) -0.28
ポイント



出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)

県内市町村平均=10

- ①地域の稼ぐ力: 結婚, 第1子, 第2子
- ②通勤圏人口性比(男/女): 結婚
- ③女性人口の非学生割合: 結婚
- ④地域の定住力: 結婚, 第1子
- ⑤出産・子育て環境: 第1子, 第2子
- ⑥住宅環境: 結婚, 第2子
- ⑦子育て支援力: 第2子, 第3子
- ⑧暮らしの安定性: 結婚, 第2子, 第3子
- ⑨共働き支援力: 結婚, 第3子
- ⑩家族・地域のきずな力: 結婚, 第3子

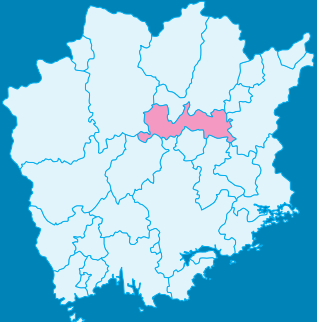
■ 25-29歳と30-34歳の有配偶率は、全国、岡山県ともに下回っており、結婚に関する要因が全般に高い中で、「①地域の稼ぐ力」と「③女性人口の非学生割合」が低いことが強く影響していることや、これ以外に、今回の分析対象にした指標以外の地域独自の要因が働いていると考えられる。

■ 第1子と第2子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており、「①地域の稼ぐ力」と「⑧暮らしの安定性」が低いことがマイナスに影響していると考えられる。

■ 第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、「⑨共働き支援力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町

美咲町



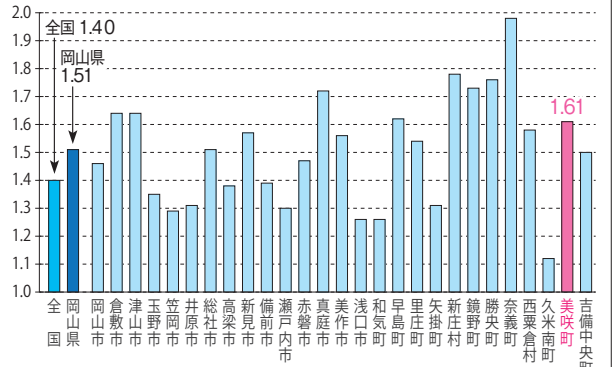
2015年の出生数
96人

合計特殊出生率 (2011年-2015年)

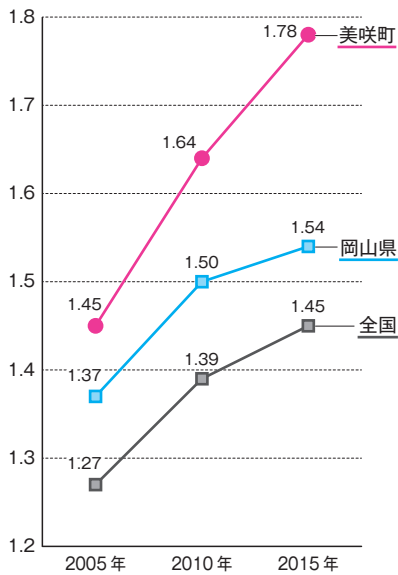
1.61

ベイズ推定値 1.64

合計特殊出生率の
全国との差
(2011年-2015年) **+0.21**
ポイント

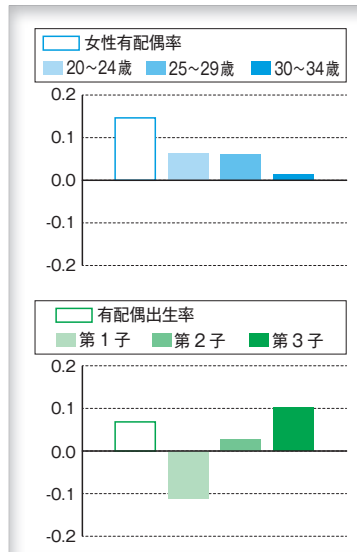


合計特殊出生率の推移

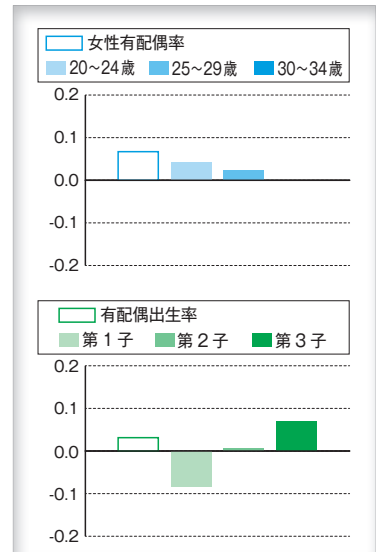


合計特殊出生率の要因分解 (2011年-2015年)

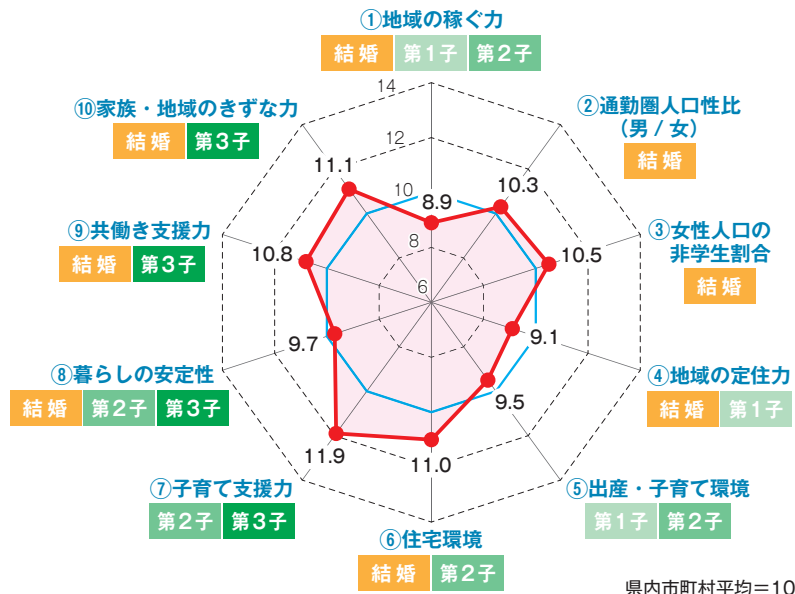
全国との差の要因分解



岡山県との差の要因分解

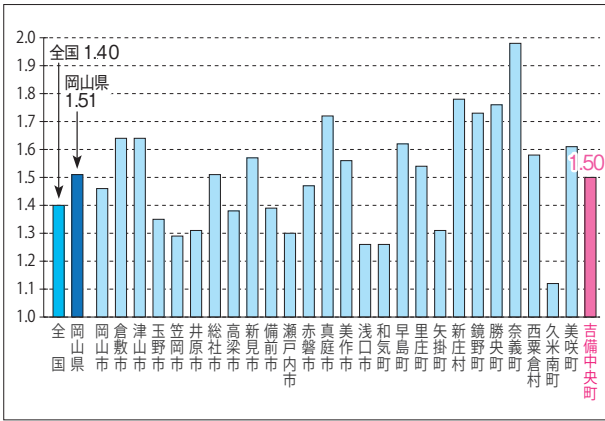
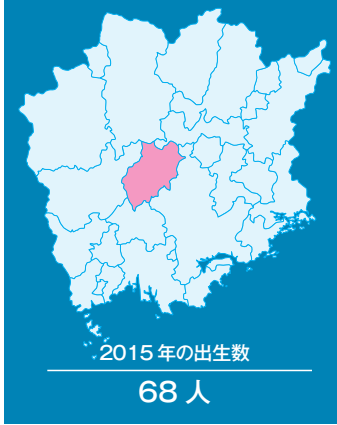


出生率に影響している市町村の社会経済特性 (市町村平均からみた特徴)



- 有配偶率は、全国、岡山県ともに上回っており、「①地域の稼ぐ力」と「④地域の定住力」は平均を下回るものの、その他の結婚に関わる要因が平均より高いことがプラスに影響していると考えられる。
- 第1子の有配偶出生率は、全国、岡山県ともに下回っており「①地域の稼ぐ力」、「⑤出産・子育て環境」等が低いことがマイナスに影響していると考えられる。
- 第2子、第3子は、全国、岡山県ともに上回っており、第2子は「⑥住宅環境」と「⑦子育て支援力」、第3子は「⑨共働き支援力」と「⑩家族・地域のきずな力」が高いことがプラスに影響していると考えられる。

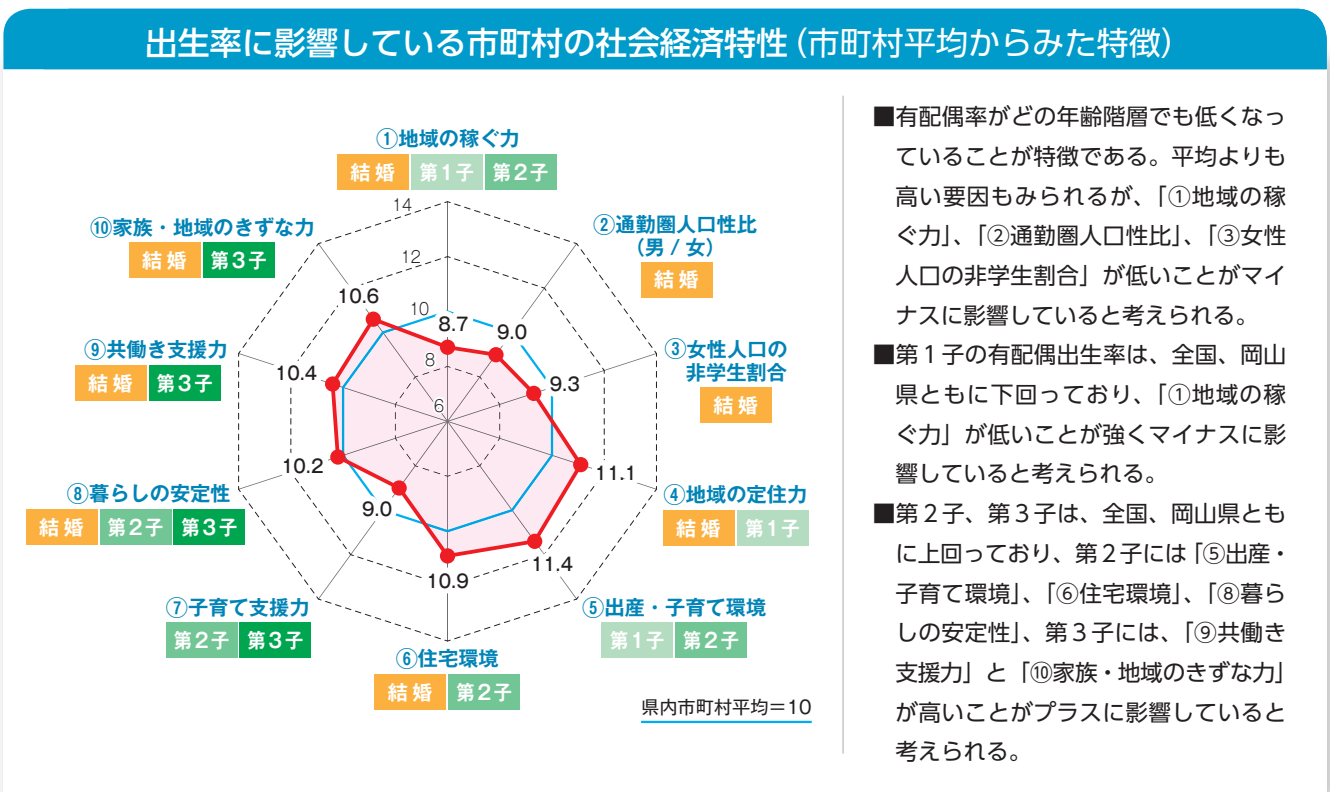
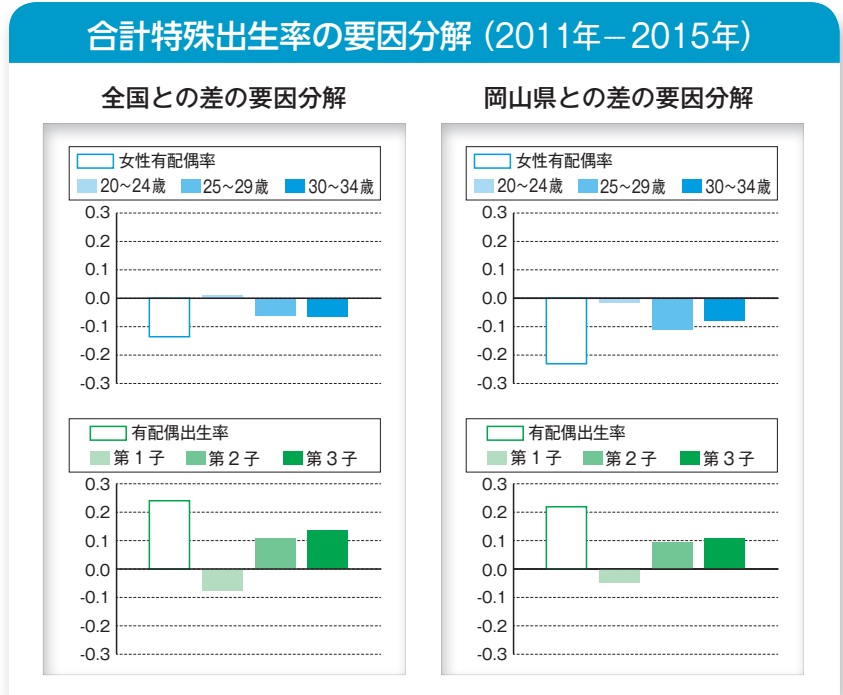
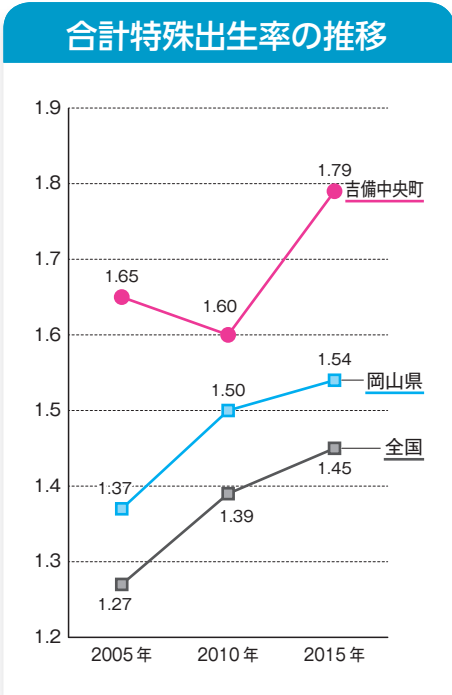
吉備中央町



合計特殊出生率
(2011年-2015年)
1.50

ベイズ推定値 **1.44**

合計特殊出生率の
全国との差 **+0.10**
(2011年-2015年) ポイント



- 岡山市
- 倉敷市
- 津山市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 真庭市
- 美作市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 新庄村
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 西粟倉村
- 久米南町
- 美咲町
- 吉備中央町